

取扱説明書 Ver 2.00

TP-940TCF

# メラクPro. フライカバーTC



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、メラクPro. 専用のフライカバーです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

## 安全上の注意事項 ご使用の前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

### ■ 「メラクPro.」 および、「メラクPro. フライカバーTC」の注意事項

#### ⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では、燃焼器(燃焼式ランタン、こんろ、ヒーターなど)および当社指定外の薪ストーブ、石油式燃焼器(石油ストーブ、石油こんろ)は使用しないでください。限られた空間での火気の使用は、火災や酸素欠乏、一酸化炭素中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で薪以外の燃料を保管したり、燃料を補給したりするなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

#### ⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候(大雨、降雪、強風、雷等)が予想されるときは速やかにキャンプを中止して、安全な場所に避難してください。万一悪天候にまわられたり、強風時などにはベグやロープがしっかりとつながれているかなどを、時々点検してください。
- 積雪がある場合、定期的にシェルターの上に積もった雪を取り除いてください。シェルターの構造上、雪の重みで損傷や倒壊のおそれがあります。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- シェルター内は高温になり、熱中症や脱水症状などの危険があります。細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。

#### ⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温ヤケドに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を空けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようシェルター本体をしっかりと支えて作業してください。事故につながるおそれがありますのでフレームを取り扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ベグとロープでしっかりとシェルターと固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 本製品の設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。
- インナーフレーム内には小物を吊るすループがついています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

### ■ 薪ストーブをセットして使用する「メラクPro. ストーブプラス」での注意事項

#### 【一酸化炭素中毒による危険性について】

燃焼している薪からは一酸化炭素と二酸化炭素などが発生しています。酸素が多い状態では二酸化炭素が多く発生し、酸素が不足した状態になりますと一酸化炭素が多く発生します。特に密閉空間では、酸素の少ない状況になりやすいため、一酸化炭素の濃度が高まり、中毒症状が起こりやすくなります。一酸化炭素は毒性があり人体に悪影響を与え、吸引の度合いによっては死亡につながる大変危険な物質です。一酸化炭素は無色透明、無臭の為、存在が分かりにくい物質であるため、薪ストーブを使用する場合には、事前に吸引しにくい状況をつくる必要があります。

#### ●一酸化炭素による人体への影響

一酸化炭素濃度	単位：ppm	吸引時間／症状
0.02%	200 ppm	2～3時間内に軽い頭痛
0.04%	400 ppm	1～2時間で前頭痛、2.5～3.5時間で後頭痛
0.08%	800 ppm	45分で頭痛、めまい、吐気、2時間で失神
0.16%	1600 ppm	20分で頭痛、めまい、2時間で死亡
0.32%	3200 ppm	5～10分で頭痛、めまい、30分で死亡
0.64%	6400 ppm	1～2分で頭痛、めまい、10～15分で死亡
1.28%	12800 ppm	1～3分で死亡

※幼児の場合はより低い濃度で死亡し得るという報告もあります。 経済産業省 高圧ガス保安協会「CO中毒事故防止技術」抜粋

## [ 安全上の注意事項 ]

### ⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- シェルターと指定されたスノーピーク製薪ストーブ以外の組み合わせでは絶対に使用しないでください。指定された組み合わせ以外で起きた事故やトラブルにおいては、一切の責任を負いかねます。免責事項に関しましてはST-110 MKストーブの免責事項を参照してください。
- 本製品と併せてご使用になる各アイテムの取扱説明書を必ずお読みください。
- 初回使用時は薪ストーブ製造時に付着した油などから煙が出ることがあります。初回使用時はシェルターの出入口パネルを全開にして薪ストーブの燃焼室に十分に薪を入れた状態で3時間程度燃焼させてください。付着している油を焼き切ることができます。
- 薪ストーブをシェルター内で使用する場合、一酸化炭素中毒の危険があります。絶対に密閉状態で使用しないでください。ベンチレーションは必ず開けてください。
- 天候により危険を感じる場合は速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。お出かけの前に気象情報を十分に把握しておき、悪天候が予想される場合や、使用中に風や雨(雪)が強くなってきたら使用を中止してください。
- シェルター内でガス缶およびその他燃料を使用する燃焼機器・ランタンは使用しないでください。※着火用のライター及びマッチはご使用いただけます。薪ストーブの点火に使用するライターなどは、薪ストーブからの熱の影響を受けない距離で管理してください。またポケットの中やテーブルの上には絶対に放置しないでください。
- 薪ストーブには、着火時の着火剤を使用する場合を除き、天然木の薪以外を絶対に使用しないでください。薪以外のものを燃やすと異常燃焼により一酸化炭素の発生や爆発、火災につながるおそれがあります。(例:ペレット、プラスチック、紙類など)
- 薪ストーブの燃焼時、着火剤の継ぎ足しはしないでください。炎が燃え移り、大変危険です。
- スノーピーク製の一酸化炭素チェッカーを必ずご使用ください。
- 薪ストーブのご使用中は、薪ストーブから目を離さないでください。一酸化炭素チェッカーが危険警報を発した際には直ちにシェルターの外に出てください。
- 万一の事態に備え、出入口の荷物は常に整理し、避難経路を確保してください。
- ベンチレーションを塞ぐ可能性がある雪中及び降雪が予想される状況では常にベンチレーションが塞がれていないか確認し、塞がれている場合は除雪してください。
- 降雪が予想される状況においては、定期的にシェルターに積もった雪を除雪してください。雪の重みでフレームに負荷がかかり製品が破損するおそれがあります。
- 雪上での設営時は、シェルターの設営場所をしっかりと圧雪してください。また、薪ストーブ設置場所は除雪をおこない、薪ストーブの脚部が地面にしっかりと接地していること、煙突が取扱説明書通り組付けができるか確認してください。組付けができない場合は、設置場所を変えてください。
- 就寝時は「就寝時の操作」を必ずご確認ください。
- 燃えやすい地面や植物の上での使用は火災の危険があります。必ず付属の遮熱プレートを使用してください。
- 子どもやペットが薪ストーブに近づかないように注意してください。ヤケドやその他の危険を避けるため、厳重に監視が必要です。
- 薪ストーブを組み立てた状態で移動させないでください。移動する際はすべて分解して移動してください。
- 衣類などの乾燥はシェルター内でおこなわないでください。ゆれて落下して火がつき、火災の原因になります。

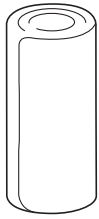
### ⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用の前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお問い合わせいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービスに点検または修理を依頼してください。
- 必ずTP-940(メラクPro) / TP-940TCF(メラクPro.フライバーTC) / ST-110 (MKストーブ) / ST-151 (一酸化炭素チェッカー)の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
- 公園や河川敷、キャンプ場といった公用地でご使用の際は各自治体や管理者に確認してください。
- 地権者(私有、公有の別なく)の許可がない場所で使用しないでください。
- 焚火や火器等の使用が禁じられている場所では絶対に使用しないでください。
- 調理器具の転倒および破損によるヤケド、水蒸気によりシェルター内の異常高温状態発生のおそれがあるため、取扱説明書に記載された使用方法に従ってください。
- 可燃物との安全距離(熱の影響を受けない距離)を確保してください。火の粉が飛び散り火災につながる可能性があります。薪ストーブは熱量が多くポケットに入れたライターなども遠赤外線効果で加熱され爆発、火災を起こすおそれがあります。
- 傾斜地や不安定な場所での設置は避けてください。薪ストーブが倒れるおそれがあります。
- すぐに手の届く場所に水などを用意しておいてください。急な火災に備える必要があります。
- シェルター内は高温になり、熱中症や脱水症状などの危険があります。細心の注意を払ってください。
- 薪ストーブ設営時にはケガに注意し、以下のことを守ってください。
  - ・パーツの端部に触れないでください。
  - ・作業用の手袋を着用してください。
  - ・パーツを組み合わせるときは、手を接合部付近に置かないでください。
- シェルター内では煙が出るような調理をしないでください。身体に悪影響を与えるおそれがあります。
- 混みあった状態では使用しないでください。人がシェルター内で転倒すると薪ストーブや煙突に触れ、ヤケドのおそれがあります。

### ⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 風向きを確認し、キャンプエリアや周囲の人、所有物に煙や火の粉の影響がないように配置してください。本製品由来の火の粉による損害やトラブルにおいては弊社は一切責任を負いかねます。
- 設置場所に十分なスペースを確保してください。
- 設置位置は必ず取扱説明書の指示する位置に従ってください。一酸化炭素チェッカーが正しく作動しなかったり、熱の影響により故障したりするおそれがあります。
- ガソリンやアルコールなどの点火液の使用は避けてください。火災や爆発の危険が高まります。
- シェルター内で調理をする場合、水蒸気と熱がシェルターの生地に施されているコーティングやシームテープの劣化を促進します。予めご了承ください。
- IGTフレームに載せて使用する場合は、IGTフレームや薪ストーブの上に脚を乗せたり、座ったりしないでください。また、IGTレールにはキッチンツールなどを吊り下げたりしないでください。薪ストーブを扱う際に妨げになり事故につながるおそれがあります。
- 薪ストーブ周辺に電子機器を置かないでください。
- LEDランタンは指定の位置以外に設置しないでください。設置場所は取扱説明書をご確認ください。
- 薪ストーブの使用により、煙突から火の粉が出ることがあります。使用時は定期的にフライバーTCを確認し、火の粉を払ってください。火の粉が付着したまま放置すると、フライバーTCに穴が空きます。
- 構造上シェルター内に煙突とシェルターの隙間から雨が入ります。あらかじめご了承ください。

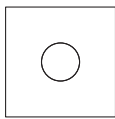
## セット内容 ※ご使用前にセット内容、付属品がすべて揃っているかを確認してください。



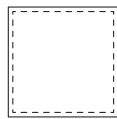
フライシート本体



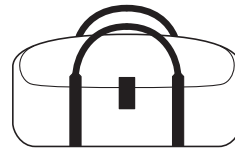
自在付ロープ  
3.5m×4  
2m×12  
5m×4



ストーブジャック



ルーフリッド



収納ケース

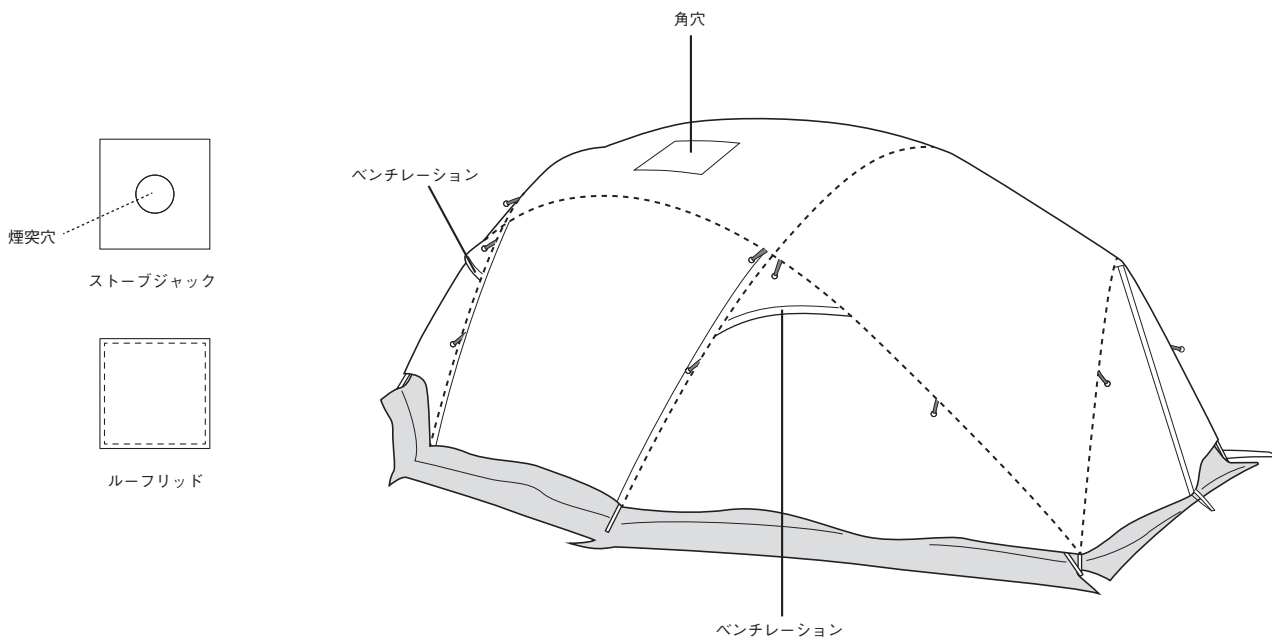


取説冊子（本書）

※本製品は単体でお使いいただくことはできません。  
ご使用するにはTP-940メラクProが必要になります。

※メラクPro. でご使用するベグの他に30cm以上×2本の  
鍛造ベグをご用意ください。

## 各部の名称



## 初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りをおこない、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

# 薪ストーブ設置時の事前準備

## ■ MKストーブ組み込み対応表

シェルター内でMKストーブを使用する場合、MKストーブ単独での使用または、下記のIGTで設置をおこなってください。

※IGTでの設置をおこなう場合は、300脚セット(CK-109)または400脚セット(CK-112)での設置をおこなってください。660脚セット(CK-113)または830脚セット(CK-114)はシェルター内では設置できません。

CK-149	アイアングリルテーブル フレーム
CK-150	アイアングリルテーブル フレームロング
CK-903	セパレートIGT フレーム 3ユニット
CK-904	セパレートIGT フレーム 4ユニット

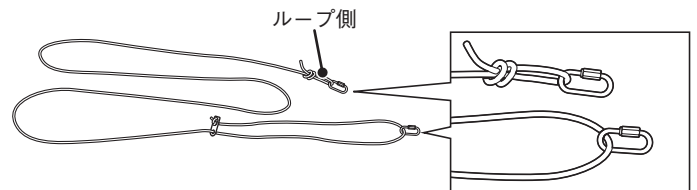
## ■ 設営前チェックリスト

設営前には以下のチェックリストを使用し、不足品の有無、各製品の不具合、設置前の環境を必ず確認してください。

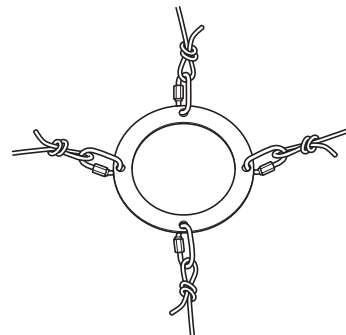
<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれるすべての付属品が揃っているか。(各製品の取扱説明書参照)
<input checked="" type="checkbox"/>	製品の設営に必要なベグの必要数は揃っているか。鍛造ベグ:30cm以上×26。IGTフレームを使用する場合、鍛造ベグ:30cm以上×4。
<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれるすべての付属品に破損や消耗がないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーに電池が入っているか、予備の電池があるか。電源が入るか。(一酸化炭素チェッカーに付属の取扱説明書)
<input checked="" type="checkbox"/>	シェルターおよび薪ストーブの設営予定場所は地盤のしっかりとした平坦な地面であるか。
<input checked="" type="checkbox"/>	冬季および積雪環境での使用時、シェルターの設営予定場所の圧雪をおこなったか。薪ストーブ設置場所は除雪をおこなったか。

## ■ MKストーブ煙突ホルダーの事前準備

① 自在付ロープ(3.7m)の両端にカラビナを取り付けます。(ロープ4本)



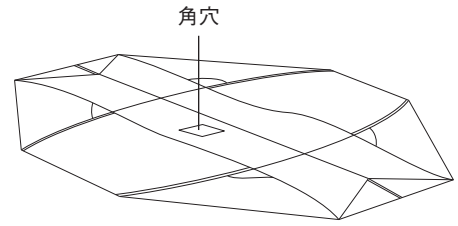
② ループ側のカラビナを煙突ホルダーに取り付けます。(4箇所)



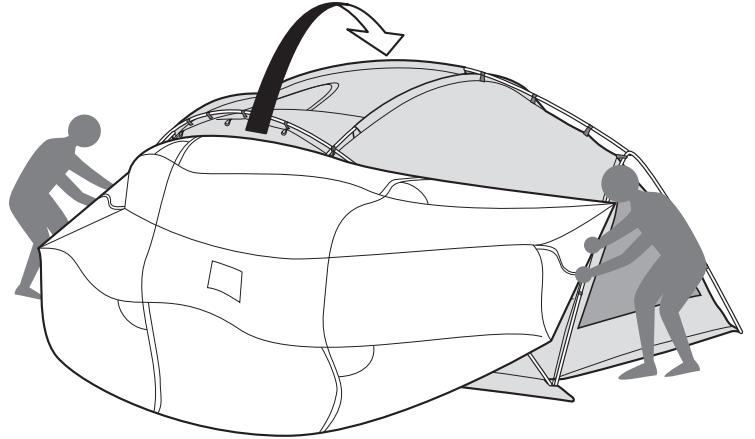
## 取り付けの手順 ※より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。  
また、付属品がすべて揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やフレームの破損や事故の原因になります。  
本書をよくお読みになりご使用ください。

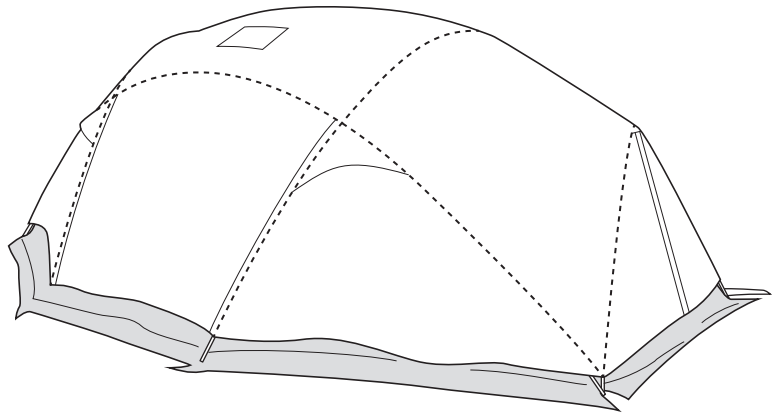
- ① 本体を平らな場所に広げます。  
角穴にストープジャックまたはルーフリッドを取り付けます。  
※シェルター内でMKストープを使用する場合は、必ずストープジャックを取り付けてください。



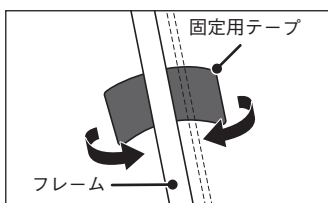
- ② フライカバーTCの隅を持ち、右図のようにメラク本体にフライカバーTCを覆いかぶせます。



- ③ 縫製の線とフレームを合わせます。(右図点線)

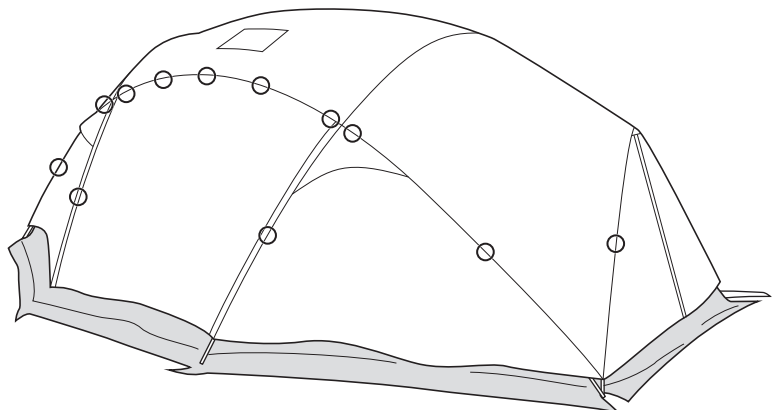


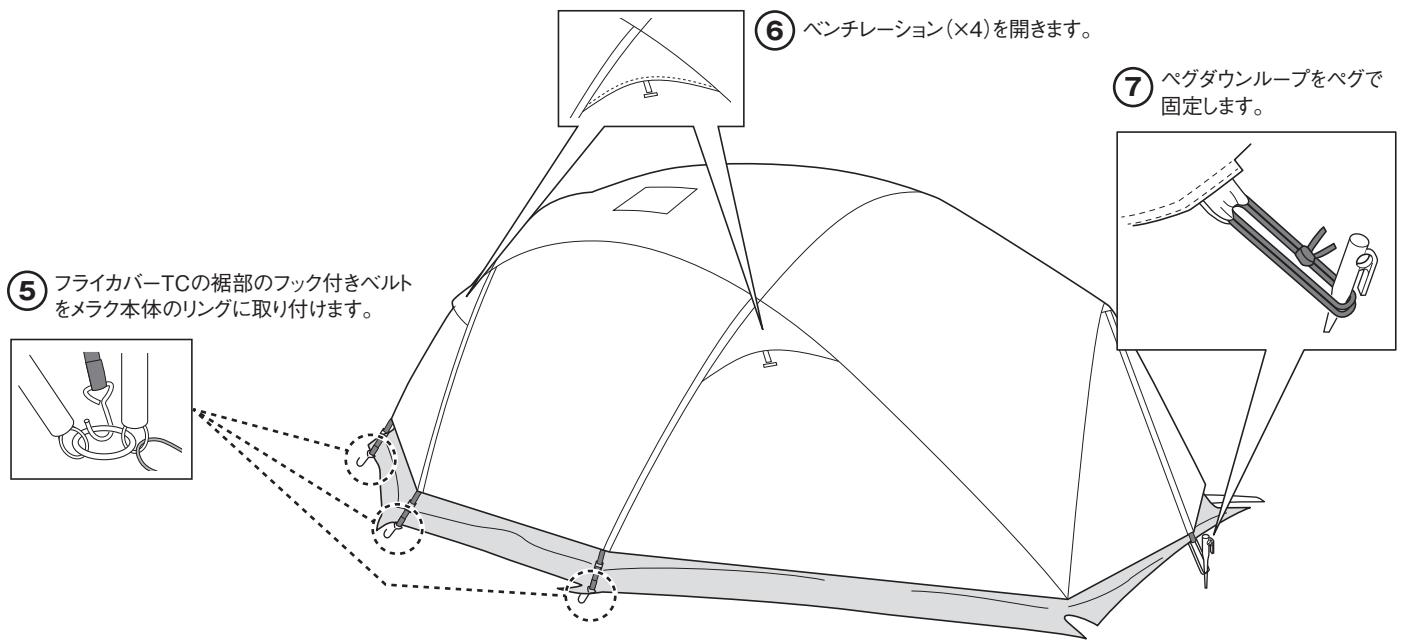
- ④ フライカバーTC裏面にある固定用テープをフレームに巻き付けて固定してください。(26箇所)



TC フルフライシート内側

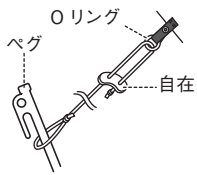
フレーム交点は2本のフレームをまとめて巻き付けます。  
反対側も同様です。



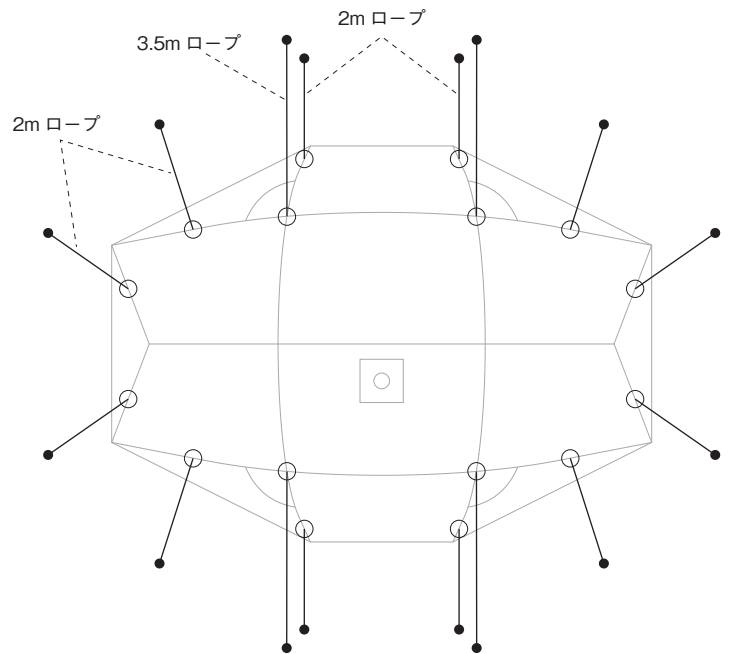


⑧ 下図のように自在付ロープの取り付けとペグの打ち込みをおこなってください。(2m×12, 3.5m×4)  
 ※大型シェルターのためご使用するペグは、30cm以上の鍛造性のペグを推奨します。

ロープの取り付け方



ルーフコーナーにあるOリングにはロープの返し部分を通してください。



IGTフレームに組み込んで使用する場合、P12から組立手順を確認ください。

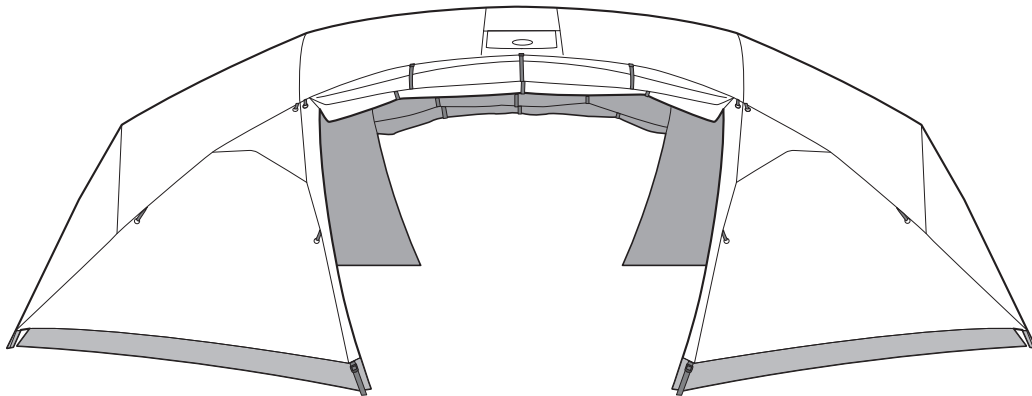
## MKストーブ組立の手順(通常使用の場合)

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。  
本書及び併用するMKストーブに付属の取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。  
また、付属品がすべて揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・組立・撤収は製品の破損や事故の原因になります。

- 危険**
- MKストーブは、地盤がしっかりと平坦な場所で設置してください。傾いた場所への設置は思わぬ事故の原因となります。
  - ご使用の際は、まず除雪をおこない、「MKストーブの脚部が地面にしっかりと接地していること」と「煙突が取扱説明書通り組付けができていること」を確認してください。組付けができない場合は、メラクPro.本体ごと設置場所を変えてください。
- 警告**
- MKストーブの設置は必ず2人以上で作業してください。
  - MKストーブを設置する際には必ず作業用の手袋を着用してください。

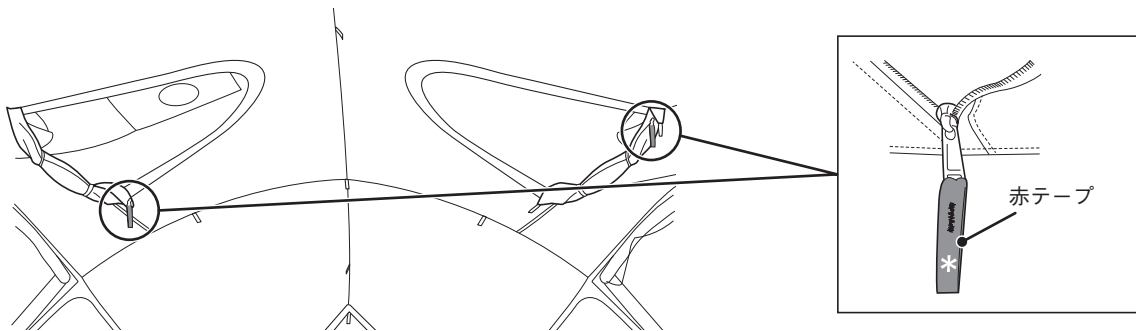
### ① 両側の出入口パネルを開ける

煙突やMKストーブを設置するためにシェルターおよびフライカバーTCの出入口パネルを両側開けます。  
フライカバーTCの出入口パネルについているトグルを自在付ロープを取り付けたリングに引っ掛けることで出入口パネルの開放状態を維持することができます。



### ② 天面の窓を巻き上げる

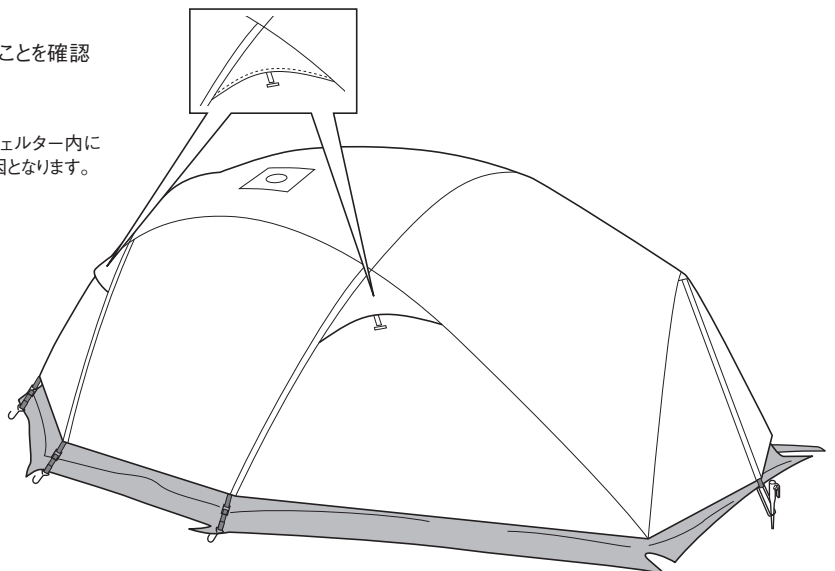
シェルター本体天面の窓(赤テープがついたファスナー)を開けて巻き上げます。(2箇所)



### ③ ベンチレーションの確認

シェルター本体とフライカバーTCのベンチレーションが開いていることを確認してください。  
閉じている場合は、ベンチレーションを開いてください。

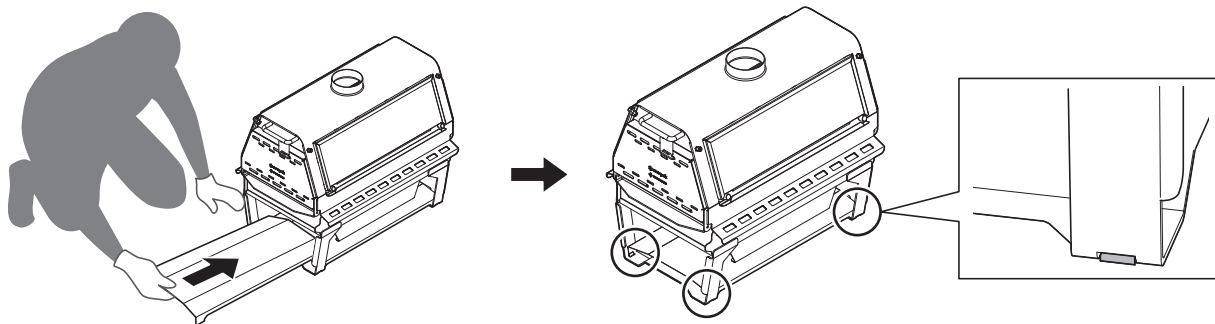
**危険** ベンチレーションを閉めた状態で薪ストーブを使用すると、万一シェルター内に一酸化炭素などの有毒なガスが発生した場合に重大な事故の原因となります。



#### ④ 遮熱プレートを取り付ける

MKストーブ本体の下、短辺側から遮熱プレートをスライドして遮熱プレートの爪が引っかかるように取り付けます。

**警告** 遮熱プレートは必ず使用してください。



#### ⑤ ロストルを図の位置に取り付ける

組み込み方：灰かきをロストルの穴に差し込み、(図1)、上に持ち上げ、MKストーブの図の位置に組み込んでください。(図2)

取りはずし方：組み込み方の逆の手順でおこなってください。取りはずす際、ロストルがとても熱くなっておりますので、ヤケドに十分ご注意ください。

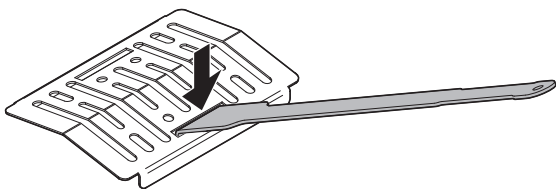


図1

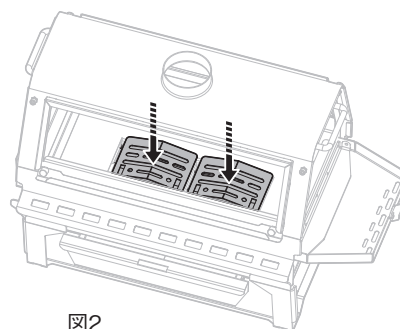
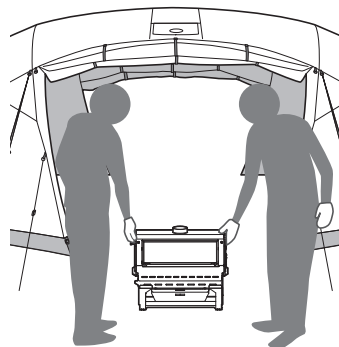


図2

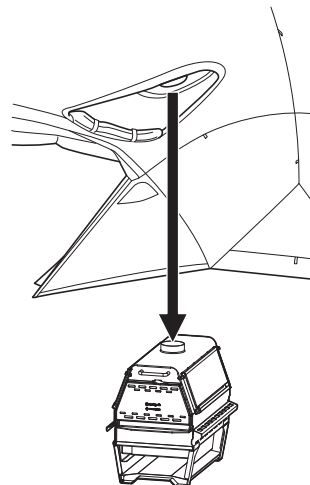
#### ⑥ MKストーブをシェルター内に設置する

1) 2人でMKストーブのハンドルをつかみ、向き合いながら持ち上げます。

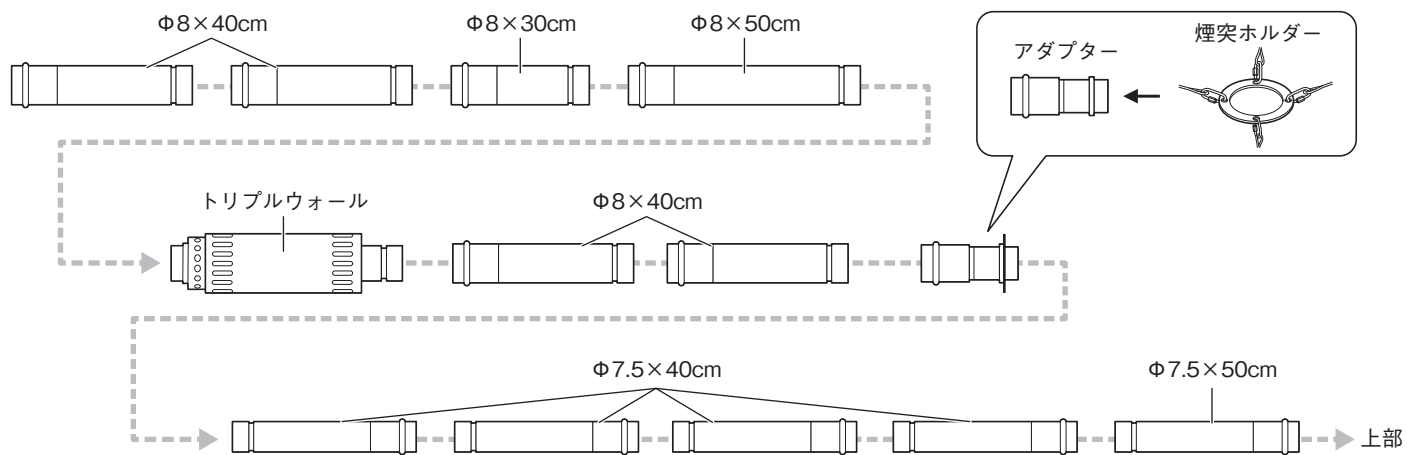


2) 煙突穴の真下に置きます。

※灰受けを任意の向きにしてください。

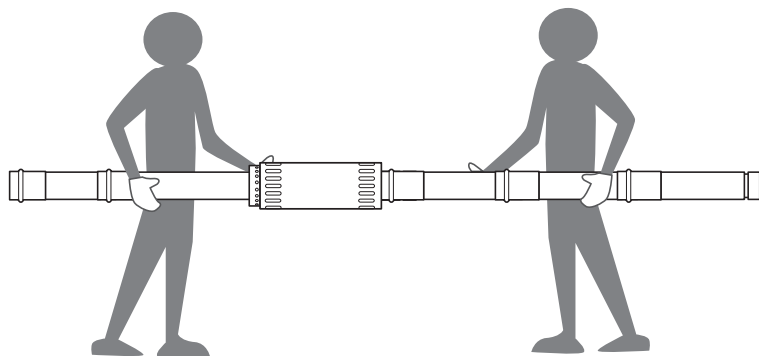


**⑦ 煙突を取り付ける**  
 煙突を図の向きでひとつずつ順に差込みます。



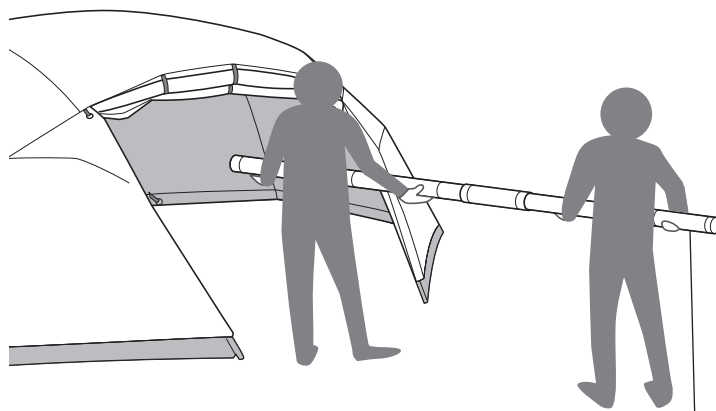
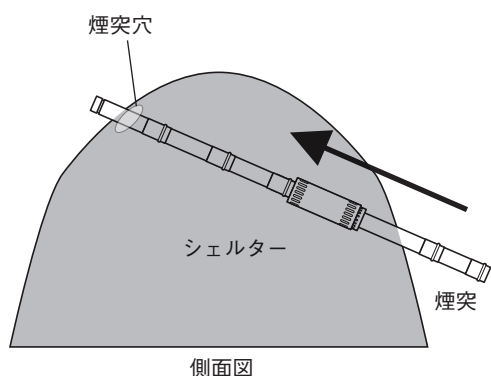
- 警告**
- 煙突の端部は製品の加工上、鋭利になっています。触れないようご注意ください。
  - 周囲の人やものにぶつけないようにしてください。ケガのおそれがあります。

- 注意**
- 煙突は最後まで差し込まれていることを確認してください。
  - 差し込む際に強引にねじ込んだり過剰な負荷をかけないでください。煙突が変形します。



煙突は2人で持ち、差し込む角度を調節しながら差し込むと組立しやすくなります。

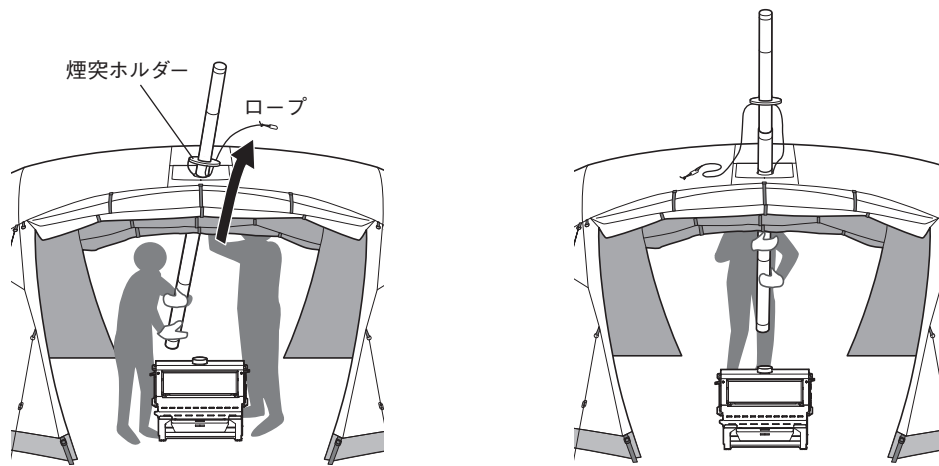
**⑧ シェルターに煙突を取り付ける**  
 図のように煙突の上部からシェルターへ入れ、煙突穴へ差し込みます。



- 注意**
- シェルターへの組付け時は煙突に負荷がかからぬように2人で持ち運んでください。
  - 煙突穴側の出入口パネルから煙突を入れることができません。

⑨ ロープをシェルターの外に出す

1人が煙突最下部を持ち、煙突を斜めに傾けます。煙突ホルダーが煙突穴から外に出た後、もう1人が煙突穴の隙間からロープを外に出します。

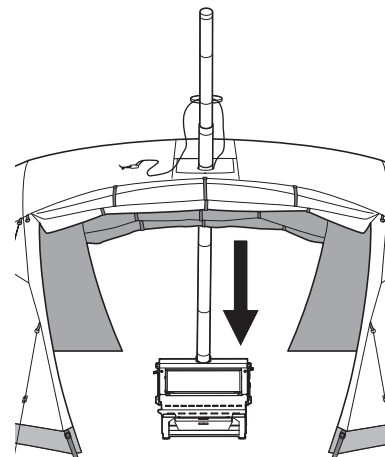


**注意** 煙突最下部を持ち上げる人は、煙突底面を持たないでください。煙突の先端は鋭利なのでケガをするおそれがあります。

⑩ 煙突をMKストーブに差し込む

煙突を垂直にし、煙突が下方向に完全に停止するまでMKストーブに差し込みます。

**注意** 煙突がうまくMKストーブ本体に入らない場合は無理に入れず、MKストーブの位置を調整してください。煙突の変形や抜けなくなるおそれがあります。



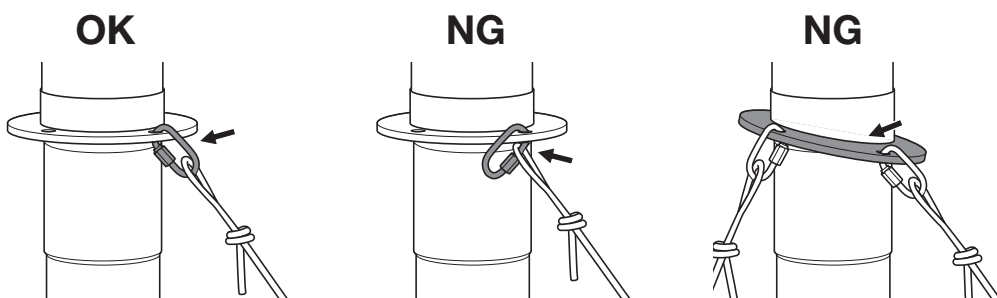
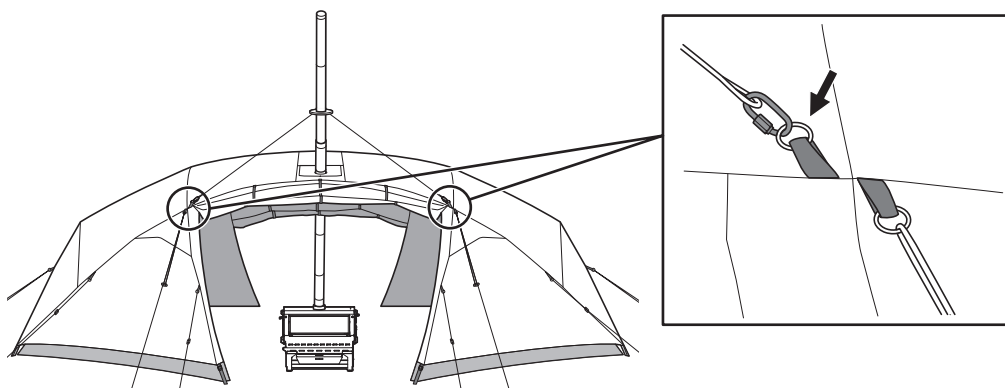
⑪ MKストーブの位置を確認

煙突が垂直の角度でMKストーブが設置できているか確認してください。MKストーブの位置がずれている場合は微調整する必要があります。

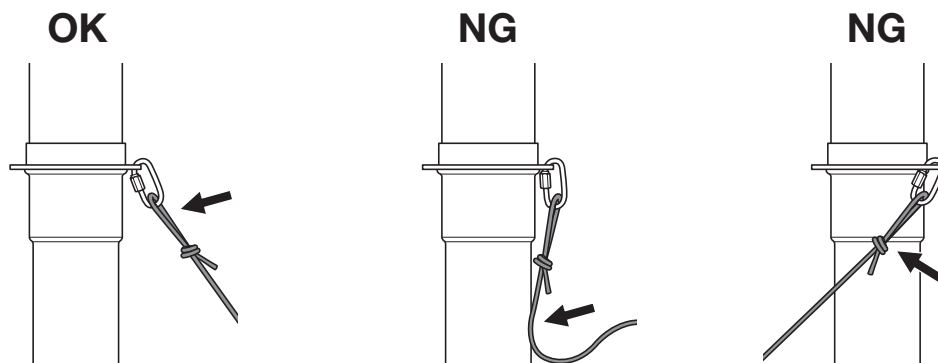
## ⑫ 煙突をロープでシェルターに固定する

シェルターの図の位置に自在付ロープ(3.7m)のカラビナを取り付け、適度にテンションをかけます。(4箇所)  
このときにロープとカラビナの固定箇所がずれている場合は煙突を回転させて位置を調整してください。

また、ロープが直に煙突に触れていないこと、カラビナがずれていないか確認してください。



煙突ホルダーが斜めになっている場合は、地面と平行になるように調整してください。

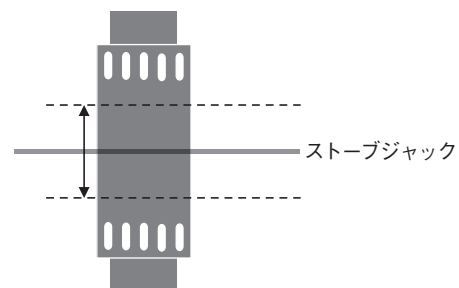


## ⑬ トリプルウォールの位置を確認

自在付ロープ(3.7m)にテンションをかけたとき、トリプルウォールの中央に煙突穴が図で指定した範囲内に収まるようにしてください。

指定範囲外になった場合は煙突を組み換えてください。

上の穴がシェルターの外に出ていて、下の穴がシェルターの中にあることを確認してください。



## ⑭ 調理をする場合は最後に、MKストーブに付属の取扱説明書を参照し、クッカーガードを取り付けてください。

# MKストーブ組立の手順 (IGTフレームに組み込む場合)

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。  
本書及び併用するMKストーブに付属の取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。  
また、付属品がすべて揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・組立・撤収は製品の破損や事故の原因になります。

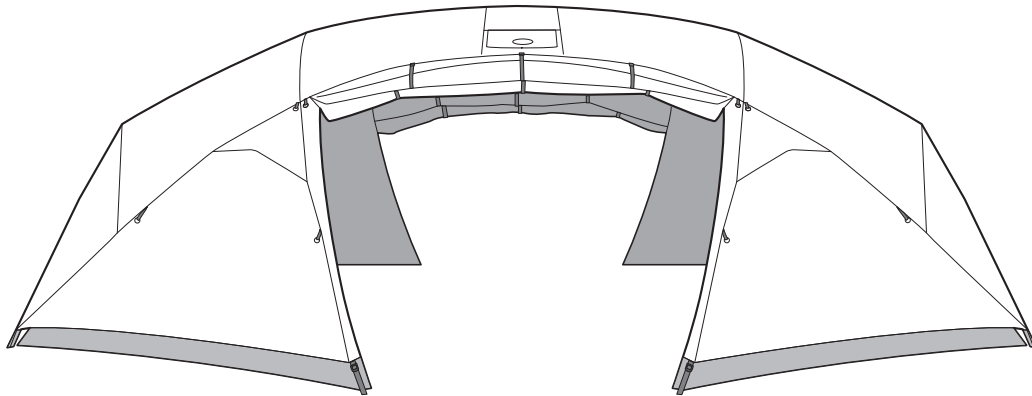
**危険** ●MKストーブは、地盤がしっかりと平坦な場所で設置してください。傾いた場所への設置は思わぬ事故の原因となります。  
●ご使用の際は、まず除雪をおこない、「MKストーブの脚部が地面にしっかりと接地していること」と「煙突が取扱説明書通り組付けができていないこと」を確認してください。組付けができない場合は、メラクPro.本体ごと設置場所を変えてください。

**警告** ●MKストーブの設置は必ず2人以上で作業してください。  
●MKストーブを設置する際には必ず作業用の手袋を着用してください。

**注意** ●シェルター内で使用できるIGTの脚の長さについてはP.6の対応表をご参照ください。

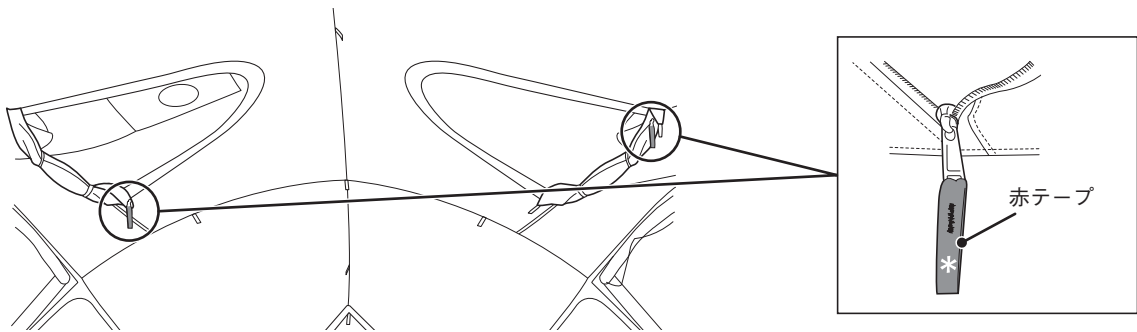
## ① 両側の出入口パネルを開ける

煙突やMKストーブを設置するためにシェルターおよびフライカバーTCの出入口パネルを両側開けます。  
フライカバーTCの出入口パネルについているトグルを自在付ロープを取り付けたリングに引っ掛けることで出入口パネルの開放状態を維持することができます。



## ② 天面の窓を巻き上げる

シェルター本体天面の窓 (赤テープがついたファスナー) を開けて巻き上げます。(2箇所)

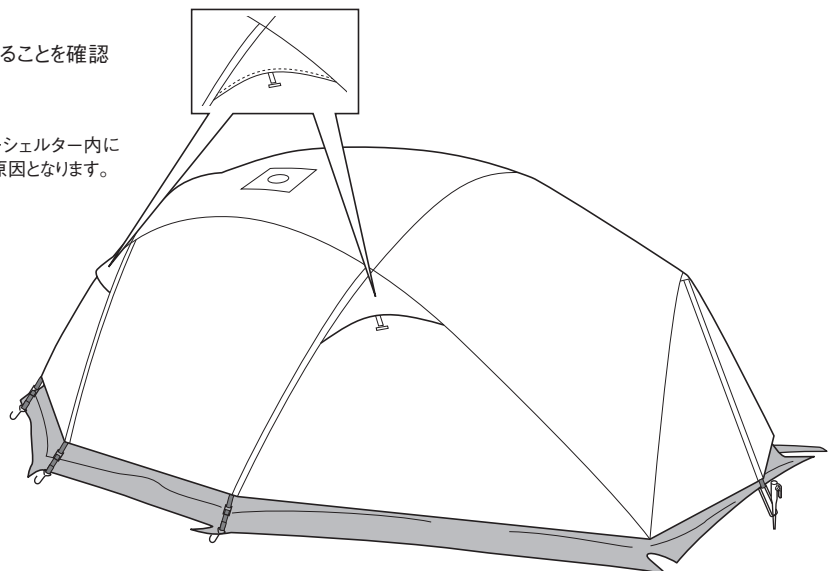


## ③ ベンチレーションの確認

シェルター本体とフライカバーTCのベンチレーションが開いていることを確認してください。

閉じている場合は、ベンチレーションを開いてください。

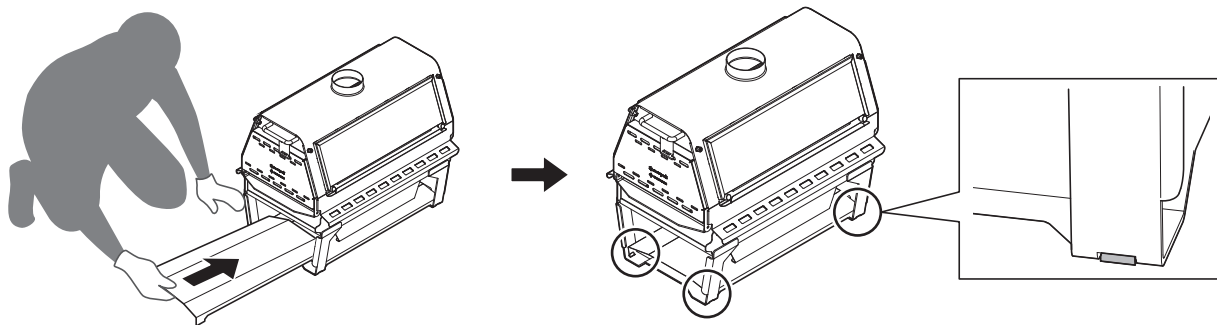
**危険** ベンチレーションを閉めた状態で薪ストーブを使用すると、万一シェルター内に一酸化炭素などの有毒なガスが発生した場合に重大な事故の原因となります。



#### ④ 遮熱プレートを取り付ける

MKストーブ本体の下、短辺側から遮熱プレートをスライドして遮熱プレートの爪が引っかかるように取り付けます。

**警告** 遮熱プレートは必ず使用してください。



#### ⑤ ロストルを図の位置に取り付ける

組み込み方：灰かきをロストルの穴に差し込み、(図1)、上に持ち上げ、MKストーブの図の位置に組み込んでください。(図2)

取りはずし方：組み込み方の逆の手順でおこなってください。取りはずす際、ロストルがとても熱くなっておりますので、ヤケドに十分ご注意ください。

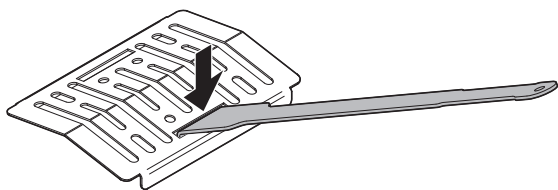


図1

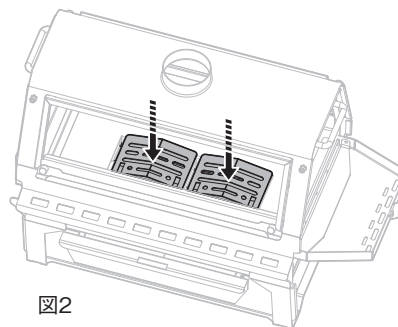
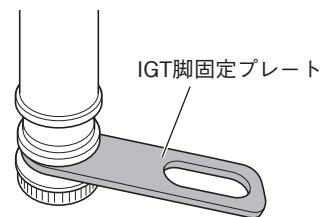


図2

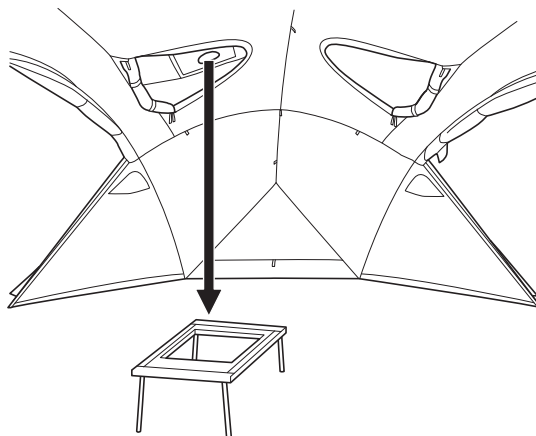
#### ⑥ MKストーブをシェルター内に設置する

1) IGTの脚(CK-109もしくはCK-112)のアジャスター部分にIGT脚固定プレートを取り付けます。(4個)

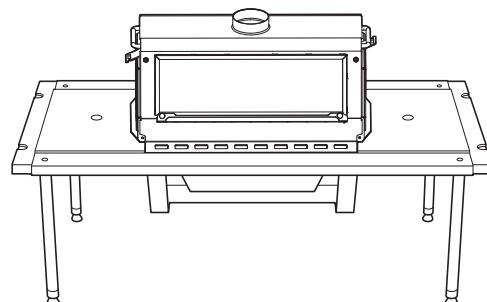
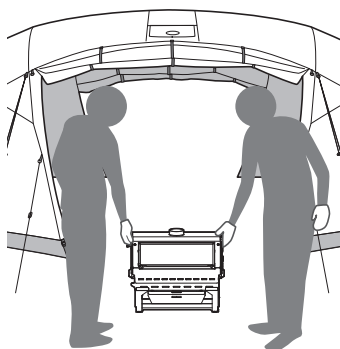
※シェルター内で使用可能な脚の長さは、300と400です。



2) 脚を取り付けたIGTフレームを煙突穴の真下に置きます。

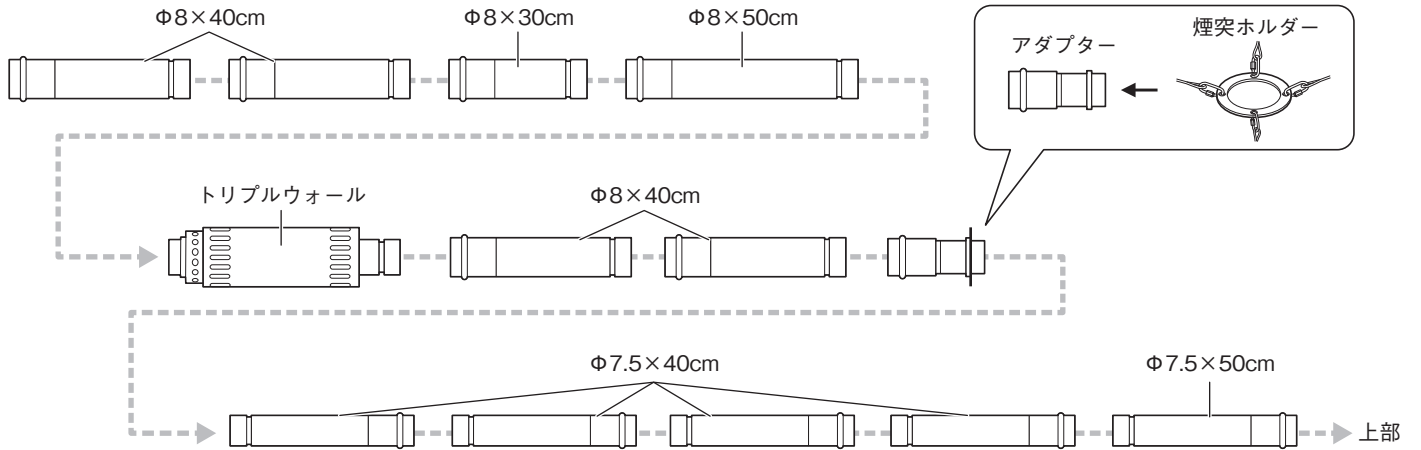


3) 2人で向き合いながらMKストーブのハンドルを持ち、必ずIGTフレームの中央に組み込みます。隙間にステンレストレーを組み込みます。※灰受けを任意の向きにしてください。

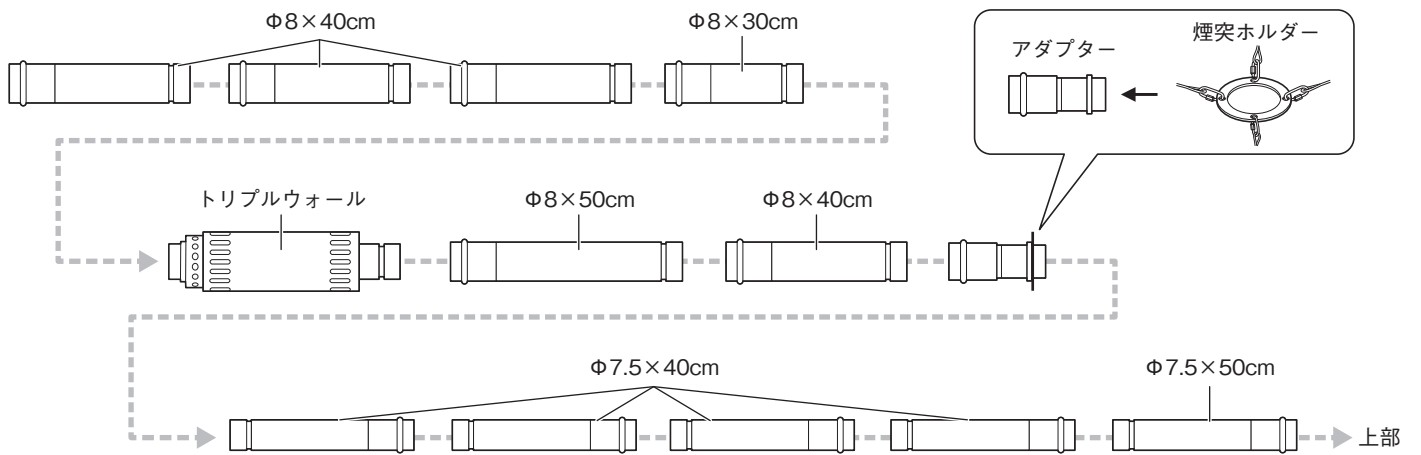


- ⑦ 煙突を取り付ける  
 煙突を図の向きでひとつずつ順に差込みます。

■ IGT300脚で使用する場合

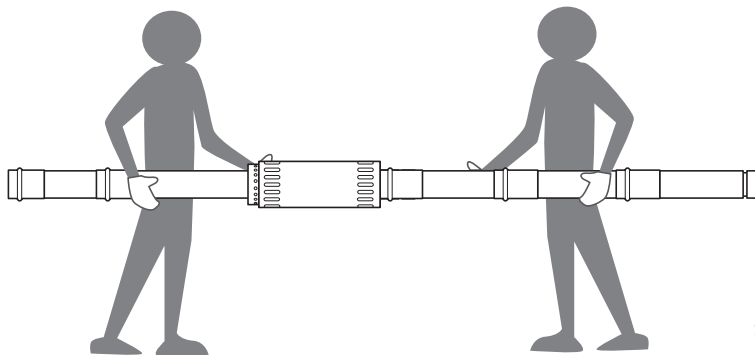


■ IGT400脚で使用する場合



- 警告**
- 煙突の端部は製品の加工上、鋭利になっています。触れないようご注意ください。
  - 周囲の人やものにぶつけないようにしてください。ケガのおそれがあります。

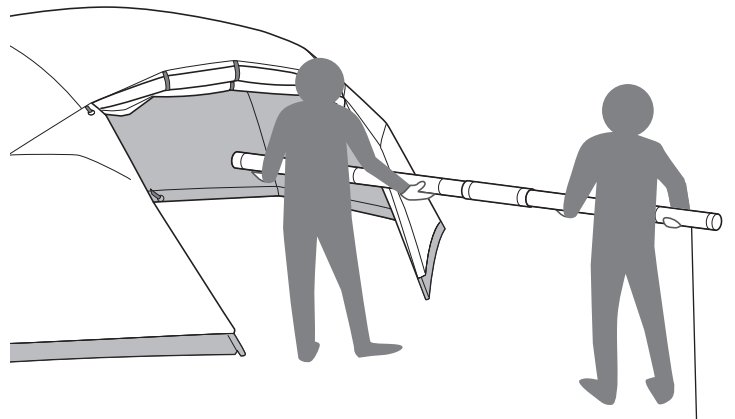
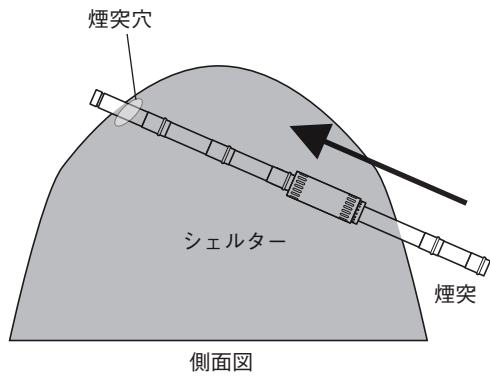
- 注意**
- 煙突は最後まで差し込まれていることを確認してください。
  - 差し込む際に強引にねじ込んだり過剰な負荷をかけないでください。煙突が変形します。



煙突は2人で持ち、差し込む角度を調節しながら差し込むと組立しやすくなります。

### ⑧ シェルターに煙突を取り付ける

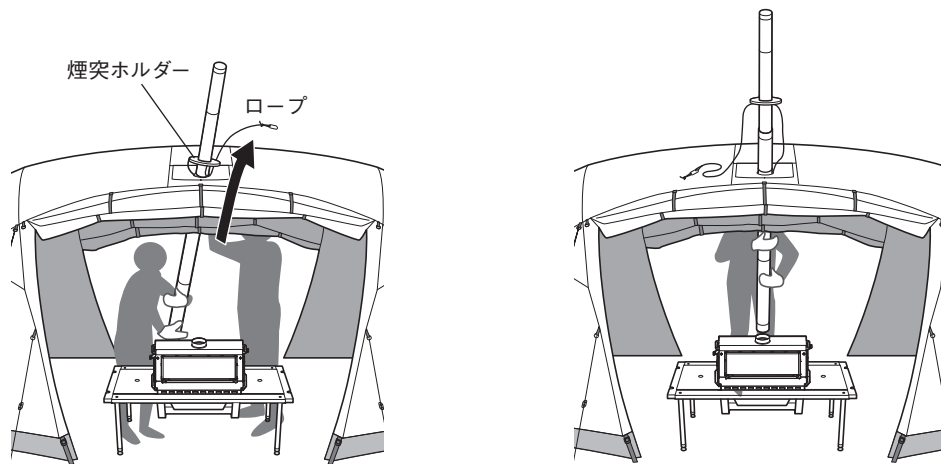
図のように煙突の上部からシェルターへ入れ、煙突穴へ差し込みます。



**注意** ●シェルターへの組付け時は煙突に負荷がかからぬように2人で持ち運んでください。  
●煙突穴側の出入口パネルから煙突を入れることができません。

### ⑨ ロープをシェルターの外に出す

1人が煙突最下部を持ち、煙突を斜めに傾けます。煙突ホルダーが煙突穴から外に出た後、もう1人が煙突穴の隙間からロープを外に出します。

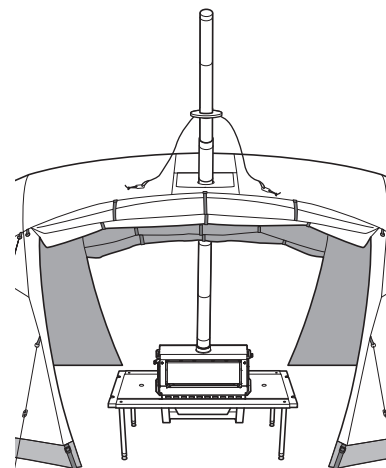


**注意** 煙突最下部を持ち上げる人は、煙突底面を持たないでください。煙突の先端は鋭利なのでケガをするおそれがあります。

### ⑩ 煙突をMKストーブに差し込む

煙突を垂直にし、煙突が下方向に完全に停止するまでMKストーブに差し込みます。

**注意** 煙突がうまくMKストーブ本体に入らない場合は無理に入れず、MKストーブの位置を調整してください。煙突の変形や抜けなくなるおそれがあります。

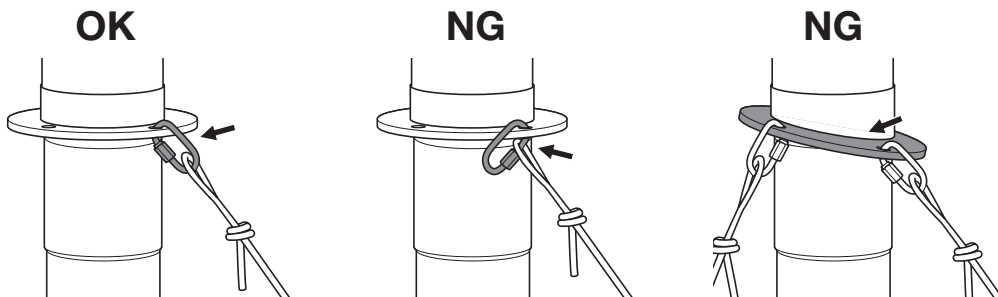
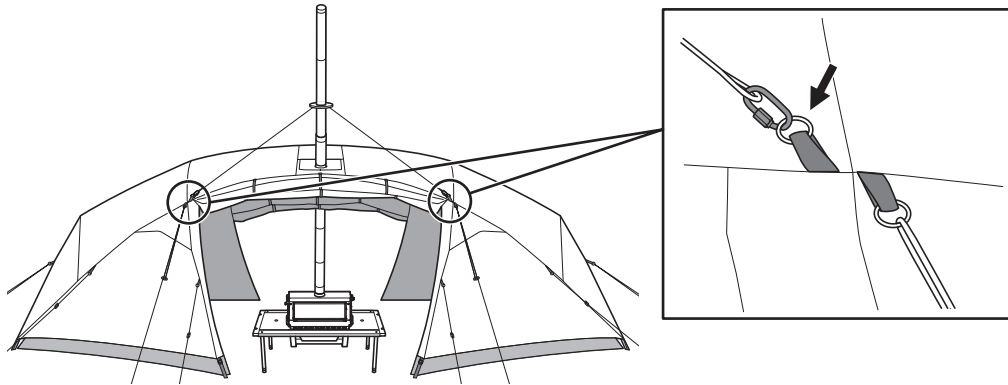


### ⑪ MKストーブの位置を確認

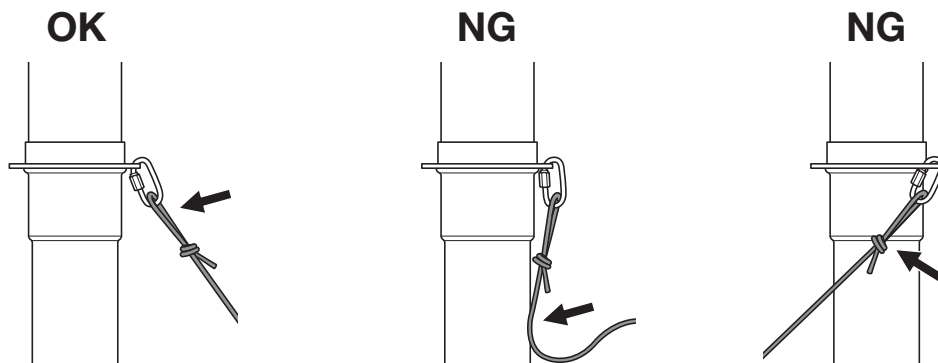
煙突が垂直の角度でMKストーブが設置できているか確認してください。MKストーブの位置がずれている場合は微調整する必要があります。

## ⑫ 煙突をロープでシェルターに固定する

シェルターの図の位置に自在付ロープ(3.7m)のカラビナを取り付け、適度にテンションをかけます。(4箇所)  
このときにロープとカラビナの固定箇所がずれている場合は煙突を回転させて位置を調整してください。  
また、ロープが直に煙突に触れていないこと、カラビナがずれていないか確認してください。



煙突ホルダーが斜めになっている場合は、  
地面と平行になるように調整してください。

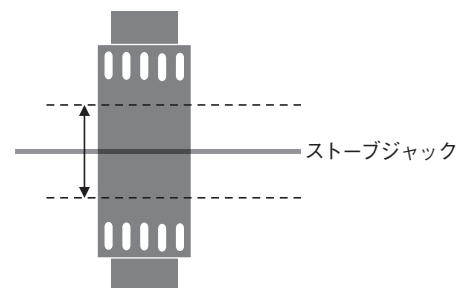


⑬ トリプルウォールの位置を確認

自在付ロープ(3.7m)にテンションをかけたとき、トリプルウォールの中央に煙突穴が図で指定した範囲内に収まるようにしてください。

指定範囲外になった場合は煙突を組み換えてください。

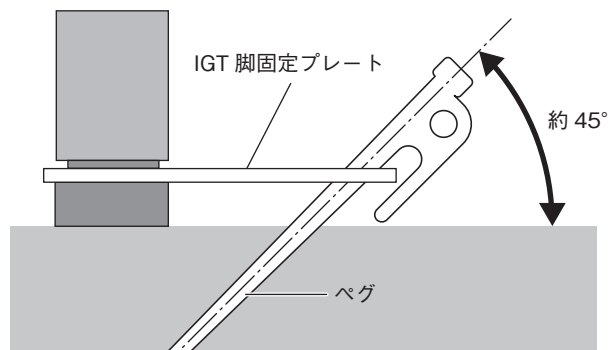
上の穴がシェルターの外に出ていて、下の穴がシェルターの中にあることを確認してください。



⑭ IGTフレームの固定

煙突の確認後、IGT脚固定プレートをペグダウンし、しっかりと地面に固定します。

※ペグは30cm以上の鍛造ペグを使用してください。



⑮ 調理をする場合は最後に操作方法 (MKストーブに付属の取扱説明書参照) の手順でクッカーガードを取り付けてください。

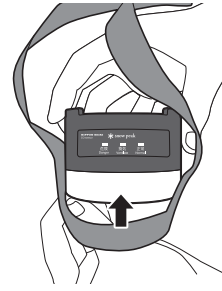
# 一酸化炭素チェッカーの取り付け方

ST-151 (一酸化炭素チェッカー)に付属の取扱説明書を参照し、シェルターへの設置と操作をおこなってください。

## ① ハングングベルトに一酸化炭素チェッカーを取り付ける

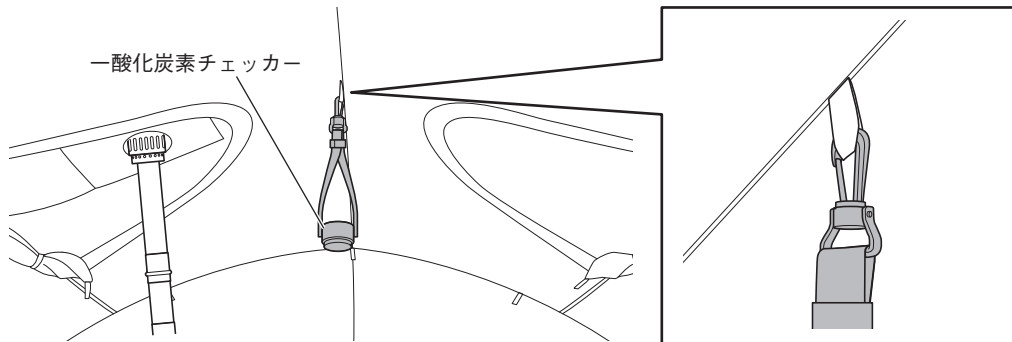
図のようにハングングベルトを一酸化炭素チェッカーへ装着します。  
このとき、インジケータが隠れないように注意してください。

**注意** インジケータの保護シールを必ず剥がしてご使用ください。



## ② シェルターに一酸化炭素チェッカーを取り付ける

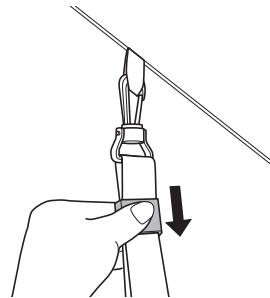
天井の図の位置のループに一酸化炭素チェッカーを取り付けます。



## ③ ゴムバンドを下ろす

ハングングベルトのゴムバンドをおろします。

**注意** ハングングベルトの長さを短くしないでください。



# 使用前チェックリスト(薪ストーブに着火をおこなう前の確認)

薪ストーブに着火をおこなう前には、以下のチェックリストを使用し、シェルター・薪ストーブ・一酸化炭素チェッカーの状態確認を必ずおこなってください。

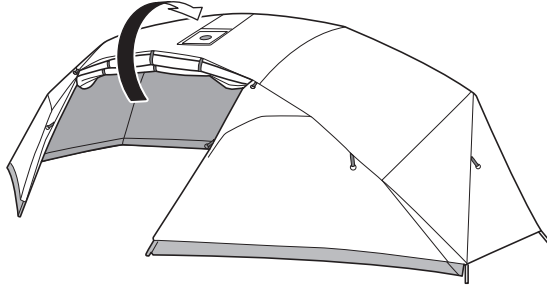
<input checked="" type="checkbox"/>	薪ストーブの脚部が地面にしっかり接地しているか。煙突が取扱説明書通り組付けができるか。(組付けができない場合は、設置場所を変えてください)
<input checked="" type="checkbox"/>	IGTフレームに組み込む場合、IGT脚が地面にしっかり接地した状態で、IGT脚固定プレートを取り付けているか。薪ストーブは傾いていないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	出入口周辺に荷物が置かれていないか。その他避難経路の妨げになる荷物がいないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定された換気窓は開いているか。(シェルターの天面の窓、シェルターとフライカバーTCのベンチレーション)
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーの電源が入っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	水の入った消火用バケツの用意はしているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ペグが正しく打ち込まれているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ロープにテンションがかかっているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	薪ストーブ周辺に電子機器や樹脂製品、その他熱の影響を受けやすいものがないか。

## シェルター内での薪ストーブ使用時注意点

**危険** 一酸化炭素チェッカーは薪を着火する前に必ず電源を入れてください。

**警告** 着火をする前に、水の入ったバケツ、断熱性のグローブ、火ばさみは必ず準備してください。

### ■ 初めて使用するとき



- ① 初めて使用する際は上図のようにシェルターの出入口パネルを両側完全に開放してください。この時、出入口の荷物は整理し、緊急時の避難経路を常に確保してください。
- ② 薪ストーブに付属の取扱説明書に従い、薪ストーブに着火してください。
- ③ 初回は薪ストーブ本体の工業用油を焼き切る必要があります。薪を投入するとき以外はシェルターの外に待機してください。3時間ほど燃焼させてください。焼けた油の煙を吸うと体調不良を引き起こすおそれがあります。

**注意** 薪の量が少ないと薪ストーブ本体温度が上がらず油を焼き切ることができなくなります。常に2次空気穴吹き出し口のラインまで薪をくべてください。

### ■ 就寝時の操作

- ① 就寝前には両側のドアがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- ② シェルター内で就寝する際は、薪ストーブの状況が常に目視できる状態にしてください。

### ■ シェルター内での照明器具の使用について

薪ストーブを使用する際、LED照明はシェルター中心(一酸化炭素チェッカー取付位置)以外のランタンループに取り付けてください。

**危険** シェルターの内部でガス缶およびその他燃料を使用する燃焼機器・ランタンは使用しないでください。

**警告** 薪ストーブの熱の影響を強く受ける場所に照明機器を置かないでください。照明機器が異常加熱され火災や思わぬ事故の原因となります。

**注意** 気候やその他の影響によってランタンループ周辺が高温になることがあります。薪ストーブの燃焼中は、取り付けた照明機器の表面温度や製品動作が適切に常に注意してください。

## 非常時の対応について

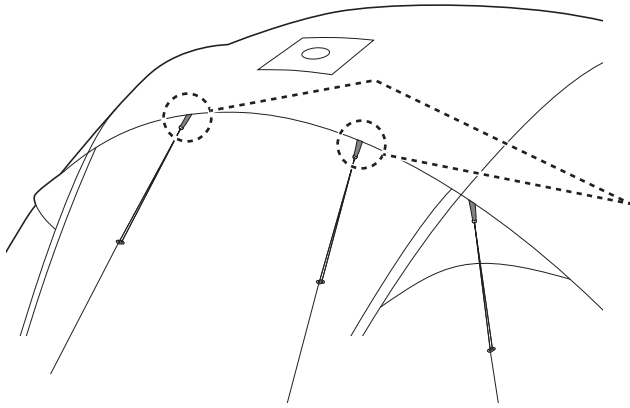
**危険** 以下の現象が起こった際は速やかにシェルターの外に避難し鎮火するまでお待ちください。必要に応じて消防署へご連絡ください。

- 燃焼中何らかの衝撃で煙突が抜けてしまった場合。
  - 燃焼中薪ストーブのドアを閉めているのに幕内に異常な煙/異臭が発生した場合。
  - 炎が逆流した場合。
  - 薪ストーブ外に炎が燃え移った場合。
- ※水で消そうとしても直ぐに消火できません。

## 強風時の対応について

本製品には、強風時に正面からの風に対して安定性を保つ付属品を備えております。自在付ロープ5m(×4)を下図のようにセッティングします。

**警告** あくまでも補助対策です。あらゆる天候に耐えられるものではありません。一次的な強風時や、即座に撤収が困難な場合にのみご使用ください。セーフティリングに体重をかけるなどしないでください。破損のおそれがあります。



自在付ロープ5mをフライカバーTCのリングに取り付けてベグで固定します。

## 撤収方法

**危険** 消火をおこなう際は最後に薪を投入したときから、「最低3時間」経過した後におこなってください。薪ストーブが熱を持っているため大変危険です。

- ① シェルターの出入口パネルを両側とも完全に開放してください。(図1)  
この時、薪ストーブと出入口パネルの間にある障害になりそうなもの(例:ベグ、チェア)はすべて片付けてください。鎮火できていない炭を外に運ぶときに思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
- ② シェルターの外に水の入ったバケツを用意してください。鎮火する際、煙や火の粉が飛ぶおそれがあります。バケツの設置はシェルターや周囲の人やものに被害が出ない位置にしてください。(図1)
- ③ 薪ストーブを開け灰かきを使用しロストルを取り出してください。このとき、作業が難しい場合は、両側のドアを開いて作業してください。ただし、ドアを両側同時に開けて作業すると風で灰がシェルター内に飛散してしまうので片側ずつ作業してください。(図2)
- ④ ロストルを取り出したら灰かきを使用し灰受けにすべての炭を落としてください。このとき、作業が難しい場合は、両側のドアを開いて作業してください。ただし、ドアを両側同時に開けて作業すると風で灰がシェルター内に飛散してしまうので片側ずつ作業してください。(図2)
- ⑤ 灰かきを使用し灰受けを取り出し、水の入ったバケツの位置まで慎重に持っていき鎮火してください。灰受けは重いので必ず灰かきは両手で持ってください。(図3)
- ⑥ 撤収は設営と逆の手順でおこなってください。

図1

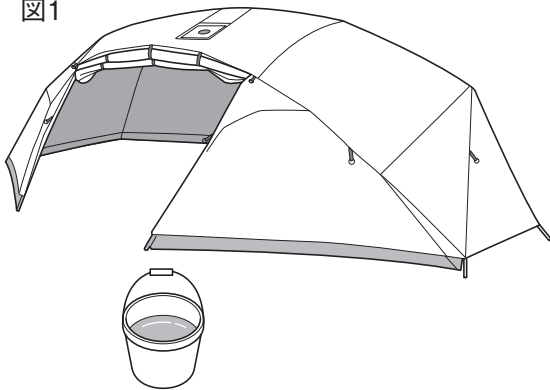


図2

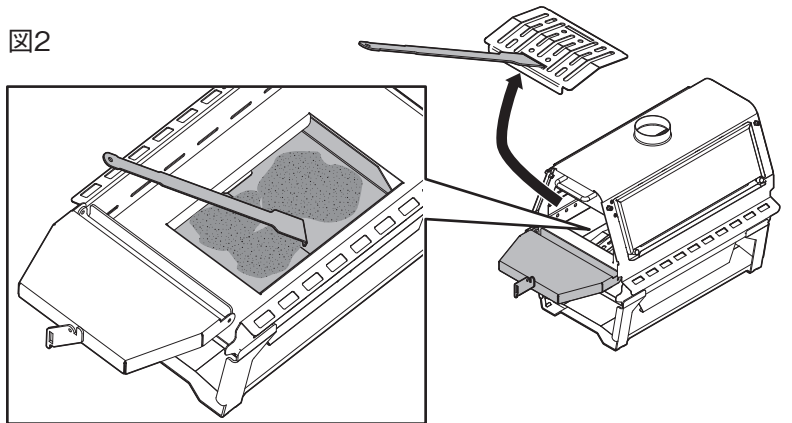
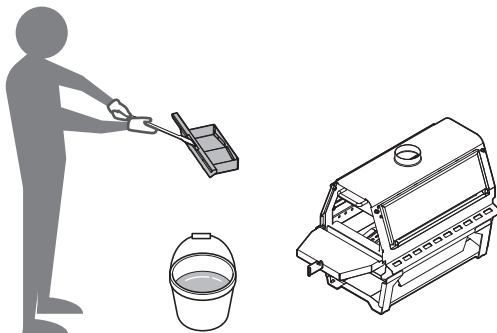


図3



## 撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- すべてのパネルのファスナー、ベンチレーションが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 必ずインナールームや併用していた製品をシェルター本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレーム収納ケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、製品の生地やキャリーバッグなどを傷めることがあります。

## 結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルター等の限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気をおこなってください。

## 撥水・防水性能について

- 本製品は水に濡れて生地が膨張することにより防水性を発揮します。生地が膨張する前に急な大量の雨にさらされると雨漏りをする場合があります。
- 本製品は、撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能（撥水の仕方や耐久性）に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

## 紫外線の影響について

- 本製品の素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

## 防カビ加工について

- フライシートの生地には高性能の防カビ加工を施しています。防カビ加工品とは、防カビ加工されてない製品と比較し、特定のカビの生育が基準より抑えられているものです。
- カビを死滅させるものではありません。特定のカビの生育を抑制します。
- カビが発生しないことを保証するものではありません。使用条件によってはカビが発生する場合があります。
- ご使用を重ねますと防カビ性能が低下する場合があります。有効期間は実際に使用される環境により異なります。

## メンテナンス・保管

- 本製品は生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 本製品は材質的にしわが発生しやすい材質となっております。予めご了承ください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次の使用に備え、ロープやストーブジャックなどの付属品も含め、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

## 品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期しますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

- 1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
- 2.素材の経年劣化による製品の寿命。
- 3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
- 4.不測の事故による製品の故障。
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 6.ゴミやサビによる故障。
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損。
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
- 10.他社製品との組合せによる故障。

## 修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
  - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
  - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

## チェックリスト

### ■ 設営前チェックリスト

設営前には以下のチェックリストを使用し、不足品の有無、各製品の不具合、設置前の環境を必ず確認してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれるすべての付属品が揃っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	製品の設営に必要なベグの必要数は揃っているか。鍛造ベグ:30cm以上×26。IGTフレームを使用する場合、鍛造ベグ:30cm以上×4。
<input checked="" type="checkbox"/>	メラクPro.ストーブプラスに含まれるすべての付属品に破損や消耗がないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーに電池が入っているか、予備の電池があるか。電源が入るか。(使用する一酸化炭素チェッカーに付属の取扱説明書)
<input checked="" type="checkbox"/>	シェルターおよび薪ストーブの設営予定場所は地盤のしっかりとした平坦な地面であるか。
<input checked="" type="checkbox"/>	冬季および積雪環境での使用時、シェルターの設営予定場所の圧雪をおこなったか。薪ストーブ設置場所は除雪をおこなったか。

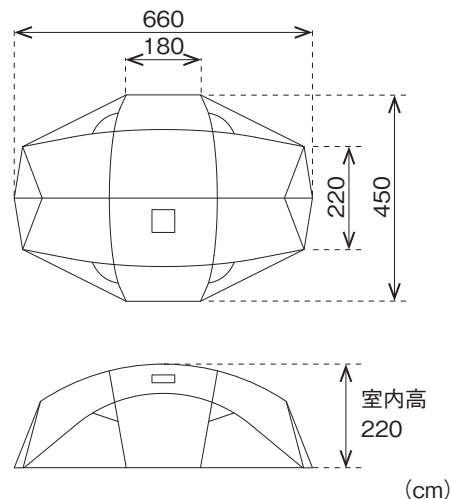
## ■ 設営後チェックリスト(薪ストーブに着火をおこなう前にご確認ください。)

薪ストーブに着火をおこなう前には、以下のチェックリストを使用し、シェルター・薪ストーブ・一酸化炭素チェッカーの状態確認を必ずおこなってください。

<input checked="" type="checkbox"/>	薪ストーブの脚部が地面にしっかり接地しているか。煙突が取扱説明書通り組付けができるか。(組付けができない場合は、設置場所を変えてください)
<input checked="" type="checkbox"/>	IGTフレームに組み込む場合、IGT脚が地面にしっかり接地した状態で、IGT脚固定プレートを取り付けているか。薪ストーブは傾いていないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	出入口周辺に荷物が置かれていないか。その他避難経路の妨げになる荷物がいないか。
<input checked="" type="checkbox"/>	指定された換気窓は開いているか。(シェルターの天面の窓、シェルターとフライカバーTCのベンチレーション)
<input checked="" type="checkbox"/>	一酸化炭素チェッカーの電源が入っているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	水の入った消火用バケツの用意はしているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ベグが正しく打ち込まれているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	ロープにテンションがかかっているか。
<input checked="" type="checkbox"/>	薪ストーブ周辺に電子機器や樹脂製品、その他熱の影響を受けやすいものがないか。

## スペック

- セット内容：フライシート本体、自在付ロープ(3.5m×4、2m×12、5m×4)、ストーブジャック、ルーフリッド、本体ケース
- 材質：本体 / 210g/㎡ポリエステルコットン混紡生地(ポリエステル約65%、コットン約35%)・撥水加工・防カビ加工、ストーブジャック/グラスファイバー(シリコーンコーティング)
- キャリーバッグサイズ：69×24×24(h)cm
- 重量：11.5 kg



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

**スノーピーク** ☎ **0120-010-660** (9:00~17:00)  
**ユーザーサービス** Email:userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク  
 〒955-0147 新潟県三条市中野原456  
 Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860  
 www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA

Instruction Manual Ver 2.00

TP-940TCF

# Merak Pro. Fly Cover TC



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a dedicated fly cover for the Merak Pro. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

## Safety Precautions Before use, please read thoroughly to help ensure safety and avoid accidents.

### ■ Precautions for Merak Pro. and Merak Pro. Fly Cover TC

**⚠ DANGER** Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The material of this shelter is not flameproof. Do not use combustion devices (such as fuel-burning lanterns, stoves, or heaters), wood-burning stoves not specified by our company, or petroleum-fueled combustion devices (such as kerosene heaters or kerosene stoves) inside the tent/shelter. The use of open flames in a confined space is very dangerous as it can cause fire, lack of oxygen, and carbon monoxide poisoning.
- Do not store or refuel any fuel other than firewood in the shelter, and do not bring anything flammable into the shelter.

**⚠ WARNING** Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, stop using the product immediately and take it to the dealer or contact Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Always pay close attention to weather conditions. If bad weather (such as heavy rain, snowfall, strong winds, thunder, etc.) is expected, promptly cancel camping and evacuate to a safe location. In the event of bad weather or strong winds, check from time to time whether the pegs and the ropes are securely connected.
- If snow has accumulated on the shelter, regularly remove it from the top of the shelter. Due to the structure of the shelter, the weight of the snow can cause damage or cause the shelter to collapse.
- Do not bring heated items into the shelter when they are at high temperatures. Inside the tent, very high temperatures may cause heatstroke or fire.
- The temperature inside the shelter can be high, which can cause heat stroke and dehydration. Please pay close attention to conditions.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. Choose a place with no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.
- Please pay attention to the building tape, rope, and pegs at your feet. If you are not careful, you may trip and fall, which may result in an unexpected accident or injury.

**⚠ CAUTION** Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use. If the shelter is left in the sun for long periods of time, the colors of the materials may fade, or the fabric may deteriorate and weaken. Do not leave the shelter set up permanently.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, potentially causing low-temperature burns. Please be extremely careful.
- Do not assemble or use this product close to a fire, fireworks, etc. When setting up or disassembling the product, make sure that there is no fire nearby. Flying sparks can burn holes in the fabric.
- Hold the shelter firmly when assembling and disassembling. Unexpected accidents may occur due to the frame ends recoiling, etc., so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity. Always assemble/disassemble this product with two or more people.
- Secure the shelter securely using pegs and ropes.
- Because this product uses a thin fabric, it may break if you pull the fabric too much. Please exercise due care.
- To withstand wind and rain, it is important to appropriately tighten the ropes. When using this product, be sure to tighten all ropes according to the guidelines stated in this instruction manual.
- When assembling and disassembling this product, be sure to hold the frame firmly. Otherwise, the edge of the frame may fly back and cause an unexpected accident, so make sure there are no people nearby and check the safety of your surroundings.
- The inner room has a loop for hanging small items. Please note that this loop is only suitable for hanging items weighing less than 1kg / 2.2lbs.

### ■ Precautions for using the Merak Pro. Stove Plus with a wood-burning stove

#### [Hazards of carbon monoxide poisoning]

Burning firewood produces carbon monoxide and carbon dioxide. When there is a lot of oxygen, a lot of carbon dioxide will be produced, and when there is a lack of oxygen, a lot of carbon monoxide will be produced. Particularly in enclosed spaces where oxygen levels tend to be low, the concentration of carbon monoxide increases, which makes poisoning more likely. Carbon monoxide is a very dangerous toxic gas that has an adverse effect on the human body, and that can lead to death depending on the degree of inhalation. Carbon monoxide is colorless, transparent, and odorless, which makes it difficult to detect. Therefore, when using the wood-burning stove, you need to prepare conditions in advance so that the chances of inhaling carbon monoxide will be as low as possible.

#### ● Effects of carbon monoxide on the human body

Carbon monoxide concentration	Unit: ppm	Suction time/symptom
0.02%	200 ppm	Experiencing mild headache within two to three hours
0.04%	400 ppm	Experiencing frontal headache after one to two hours, post-headache after 2.5 to 3.5 hours
0.08%	800 ppm	Experiencing headache, dizziness, or nausea within 45 minutes, fainting within two hours
0.16%	1600 ppm	Experiencing headache or dizziness within 20 minutes, fatal within two hours
0.32%	3200 ppm	Experiencing headache or dizziness within five to 10 minutes, fatal within 30 minutes
0.64%	6400 ppm	Experiencing headache or dizziness within one to two minutes, fatal within 10 to 15 minutes
1.28%	12800 ppm	Death in one to three minutes

\* There are also reports stating that infants may die at lower concentration levels.

Excerpted from "CO Poisoning Accident Prevention Technology",  
issued by the High Pressure Gas Safety Association Trade and  
Industry of the Ministry of Economy

## [Safety Precautions]

### **DANGER** Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Never use this product in combination with the shelter and a non-Snow Peak wood stove. We will not be responsible for any accidents or problems that occur if you assemble the products in ways other than those specified. For details on disclaimers, please refer to the ST-110 MK Stove Disclaimer.
- Read the instruction manuals for each item you are using in combination with this product.
- When the product is used for the first time, smoke may be emitted from the oil that adhered to the wood stove during the manufacturing process. When using the product for the first time, fully open the doorway panel of the shelter, fill the combustion chamber of the wood stove with a sufficient amount of firewood, and let it burn for approximately three hours. This will burn off any oil that may have adhered to the product.
- If the wood stove is used inside a shelter, it may cause carbon monoxide poisoning. Never use it when the shelter is closed. Be sure to open the ventilation openings.
- If you feel that the weather may pose a threat, disassemble the product immediately and evacuate to a safe location. Be sure you fully understand the relevant weather conditions before going out. Do not use the product if bad weather is expected, and stop using it if wind, rain, or snow becomes heavy while using the product.
- Do not use gas cans, other combustion devices, or lanterns that use fuel inside the shelter. \* However, lighters and matches used to start a fire can be used. Keep a lighter, etc. used to ignite the wood-burning stove at a distance where it will not be affected by heat from the wood-burning stove. Also, never leave it in your pocket or on the table.
- Never use firewood other than natural wood in the wood stove except when you use a fire starter to ignite the firewood. If you burn anything other than firewood, abnormal combustion may generate carbon monoxide, or trigger an explosion or fire. (Example: Pellets, plastic, paper, etc.)
- When using the wood stove, do not add a fire starter. Otherwise, the flames will spread, which is very dangerous.
- Be sure to use the Snow Peak carbon monoxide monitor.
- Never leave the wood stove unattended while it is in use. If the carbon monoxide monitor issues a danger alert, exit the shelter immediately.
- In preparation for an emergency, always keep your belongings organized near the doorway and secure an emergency evacuation route.
- When it is snowing or in situations where snowfall is expected, if there is a chance that ventilation ducts may become blocked, always check that they are not blocked, and if any are blocked, remove snow to unblock them.
- In situations where snowfall is expected, remove any snow that accumulates on the shelter on a routine basis. If this is not done, the weight of snow may put pressure on the frame, which may damage the product.
- When setting up the shelter on snow, be sure to thoroughly compact the snow on which you will set it up. In addition, remove snow from the areas where you will install the wood stove, make sure that the stove legs are firmly placed on the ground, and check whether the chimney can be assembled as shown in the Instruction Manual. If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.
- When going to sleep, be sure to read and follow the instructions in "Operations at bedtime".
- If the products are used on flammable ground or vegetation, it may create a fire hazard. Be sure to use the heat shield plate provided with the product.
- Keep children and pets away from the wood-burning stove. The stove should be closely monitored to prevent burns and other hazards.
- Do not move the wood stove when it is assembled. When moving the product, disassemble all the parts in advance.
- Do not attempt to dry clothes inside the shelter. If you do, they may sway, fall, and ignite, causing a fire.

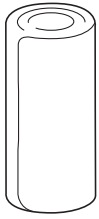
### **WARNING** Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If you discover any abnormalities, stop using the product immediately and take it to the retailer or contact Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Be sure to read the Instruction Manual for the TP-940 (Merak Pro.) / TP-940TCF (Merak Pro. Fly Cover TC) / ST-110 (MK Stove) / ST-151 (Carbon Monoxide Monitor) carefully before use.
- Open flames or heating devices in a public place such as parks, riverbeds, or campgrounds, check with the local government or administrator in advance.
- Do not use the product in areas in which you have not received permission from the landowner (private or public).
- Never use open flames or heating devices in places where their use is prohibited.
- Follow the usage instructions described in the Instruction Manual, as you may be burned if the cooking utensils overturn or get damaged, or it may become abnormally hot inside the shelter due to water vapor.
- Ensure there is a safe distance (distance that is not affected by heat) from combustible materials. Sparks may fly out, causing a fire. The wood-burning stove generates a lot of heat, and lighters and other objects placed in pockets can be heated by the far infrared rays, which may cause an explosion or fire.
- Avoid placing the stove on a slope or unstable location. Otherwise, it may fall over.
- Keep water and other supplies within easy reach. You need to be prepared for the sudden outbreak of fires.
- The temperature inside the shelter can be high, which can cause heat stroke and dehydration. Please pay close attention to conditions.
- When setting up the wood stove, exercise care to avoid injury, and observe the following instructions.
  - Do not touch the edges of parts.
  - Wear work gloves.
  - When assembling parts, do not place your hands near the joints.
- Do not cook anything that produces smoke inside the shelter. Doing so may adversely affect health.
- Do not use this product in crowded situations. If someone trips inside the shelter, they may come into contact with the wood stove or chimney, and suffer burns.

### **CAUTION** Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- Check the direction of the wind, and place the products so that smoke and sparks will not fly around the camping area, or onto people in the vicinity or other belongings. We will not be responsible for any damage or problems caused by sparks originating from the products.
- Ensure there is sufficient space at the installation location.
- Be sure to follow the instructions in the Instruction Manual regarding the installation location. Otherwise, the carbon monoxide monitor may not work effectively, or a malfunction may occur due to the effects of heat.
- Avoid using ignition fluids such as gasoline or alcohol. Otherwise, there will be a greater risk of a fire or explosion.
- Cooking inside the shelter may accelerate deterioration of the coating and seam tape applied to the shelter fabric due to steam and heat. Please note this in advance.
- When using the product on the IGT frame, do not rest your legs on the frame or wood stove, or sit on them. Also, do not hang kitchen utensils or other items on the IGT rail. Doing so will interfere with handling of the wood stove, which may lead to an accident.
- Do not place electronic devices near the wood stove.
- Do not place an LED lantern in any location other than where designated. For the location to place it, check the Instruction Manual.
- When you are using the wood stove, sparks may come out of the chimney. To use the stove, check the fly cover TC regularly and brush off any sparks. If sparks are left on the fly cover TC, holes may be created in the fly cover TC.
- Please note that due to the design, rain enters the shelter through the gap between the chimney and the shelter.

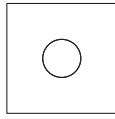
## Contents \* Before use, check that all set contents and accessories are included.



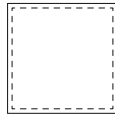
Fly sheet



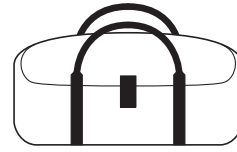
Rope with a rope tensioner  
3.5 m / 11.5' x 4  
2 m / 6.6' x 12  
5 m / 16.4' x 4



Stove jack



Roof lid



Storage case

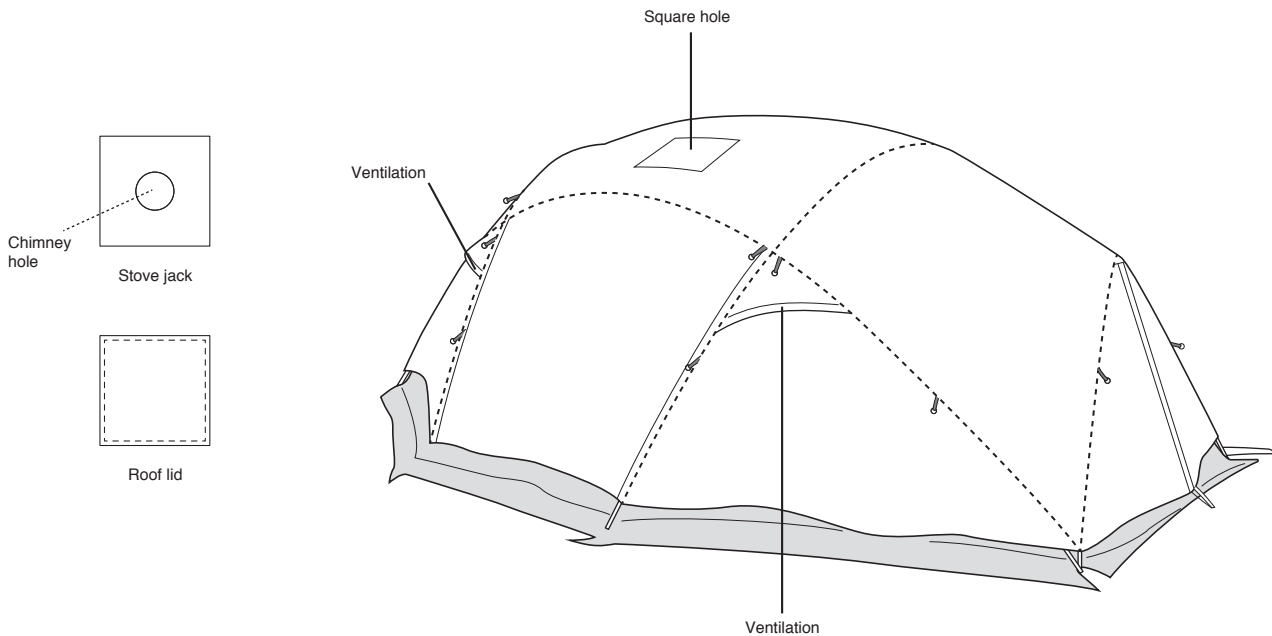


Instruction Manual  
(this document)

\* This product cannot be used independently.  
The TP-940 Merak Pro. is required to use this product.

\* In addition to the pegs used for Merak Pro., prepare two  
forged pegs that are 30 cm / 11.8" or longer.

## Name of Parts



## Before using this product for the first time

- Please check that all accessory items are included before attempting to assemble the product. Practice assembling and handling the product in a safe location before using it while camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer you purchased the product from, or Snow Peak Customer Service.

# Preparations before installing a wood stove

## ■ MK Stove installation correspondence table

When using the MK Stove inside the shelter, use it independently or install it with the IGT listed below.

\* When installing with an IGT, use the 300mm Leg Set (CK-109) or 400mm Leg Set (CK-112). The 660mm Leg Set (CK-113) or 830mm Leg Set (CK-114) cannot be installed inside the shelter.

CK-149	IGT 3 Unit Frame
CK-150	IGT 4 Unit Frame
CK-903	Collapsible IGT Frame 3 Unit
CK-904	Collapsible IGT Frame 4 Unit

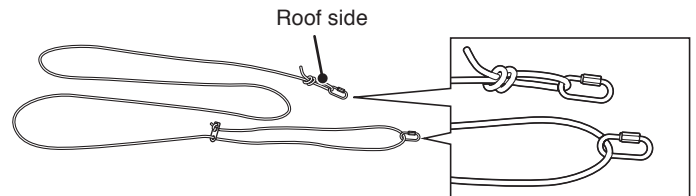
## ■ Pre-setup checklist

Before setup, please use the checklist below to check for missing items, defects in each product, and the environment before installation.

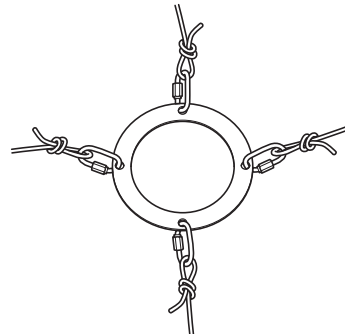
<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the Merak Pro. Stove Plus accessories included?
<input checked="" type="checkbox"/>	Do you have the required number of pegs needed to set up the product? Forged pegs: 30 cm / 11.8" or more × 26 When using an IGT frame, forged pegs: 30 cm / 11.8" or more × 4.
<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the accessories included in the Merak Pro. Stove Plus free of damage and wear?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there batteries in the carbon monoxide monitor, and are spare batteries prepared? Does the carbon monoxide monitor turn on? (Refer to the instruction manual included with the carbon monoxide monitor.)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the location where the shelter and wood stove will be set up firm and flat?
<input checked="" type="checkbox"/>	When using the shelter in winter or in a snowy environment, did you compact the snow in the area where you want to set up the shelter? Did you clear snow in the area to install the wood stove?

## ■ Preparations of MK stove chimney holder

- ① Attach carabiners to both ends of the rope with tensioner (3.7m / 12.1'). (Four ropes)



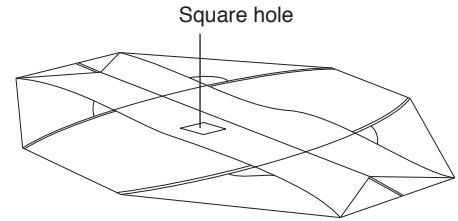
- ② Attach the carabiner on the loop side to the chimney holder. (4 locations)



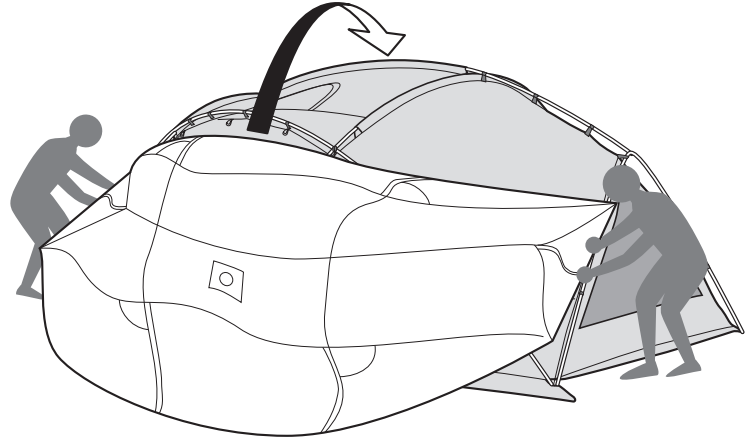
# How to Attach the Fly Cover

Please check that all accessory items are included before attempting to assemble the product. Practice assembling and handling the product in a safe location before using it while camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer where you purchased the product, or Snow Peak Customer Service.

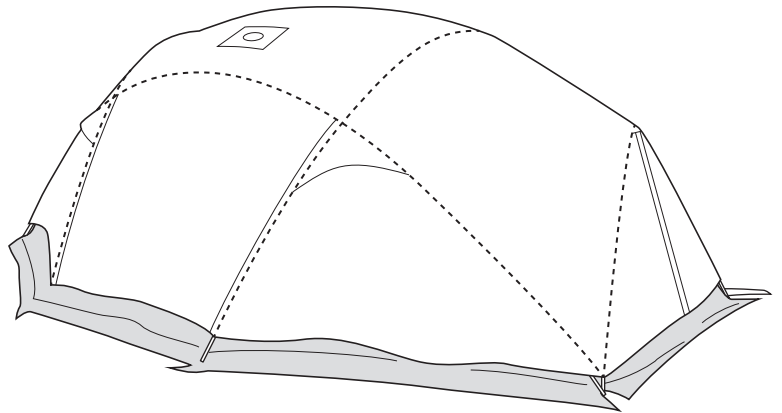
- 1 Spread the main body on a flat area.  
Attach the stove jack or roof lid to the square hole.  
\* If using an MK stove inside the shelter, always ensure that the stove jack is attached.



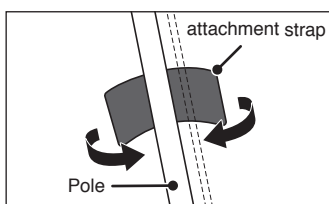
- 2 Hold the corners of the fly cover TC and drape it over the Merak main body as shown in the figure on the right.



- 3 Align the stitch line with the pole. (Dotted line shown in the figure on the right)

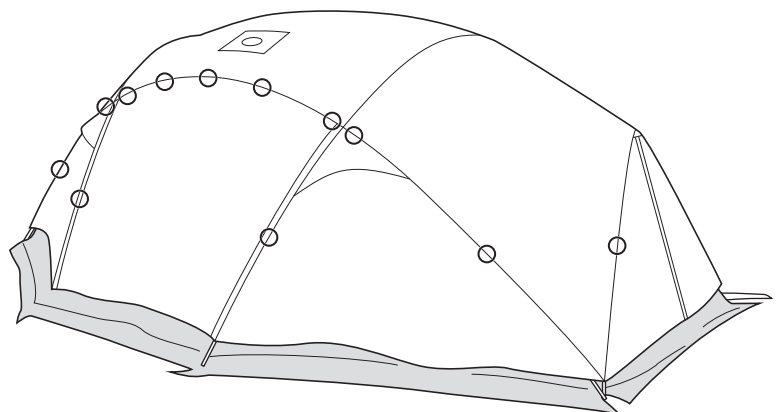


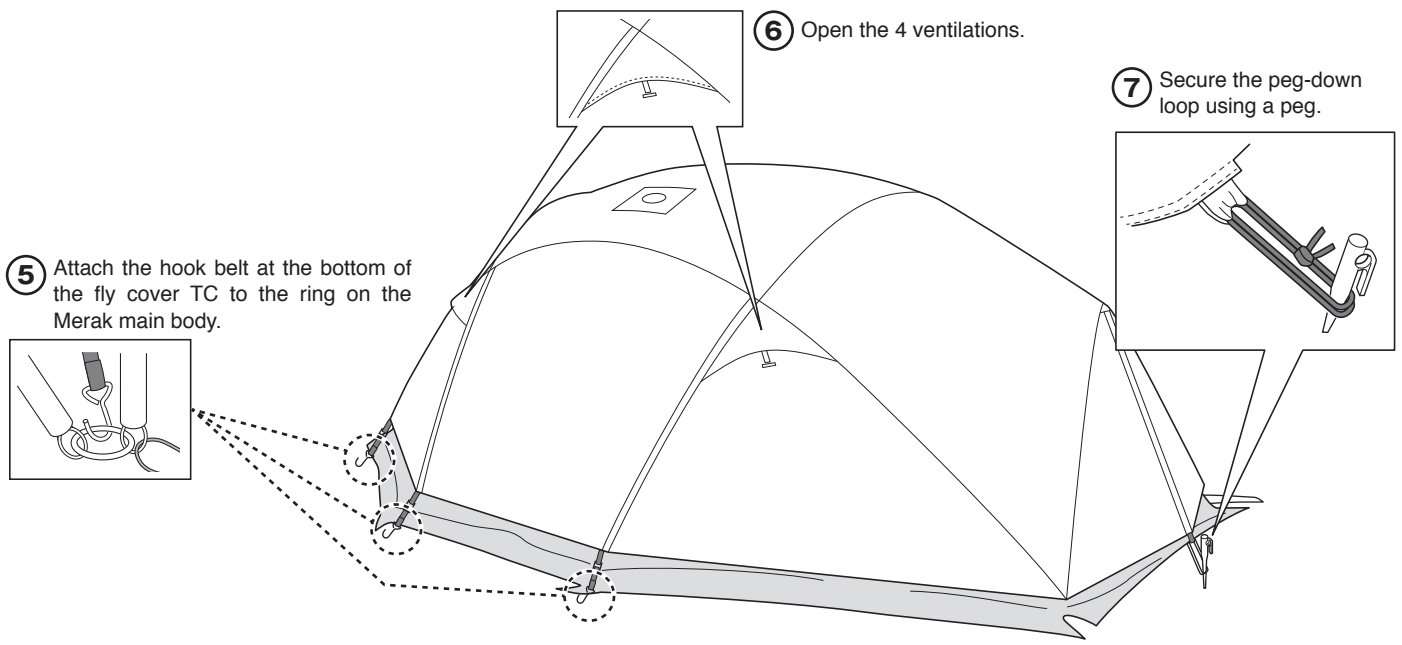
- 4 Wrap the attachment strap on the back of the fly cover TC around the pole to secure it. (26 locations in total)



Inside of the fly cover TC

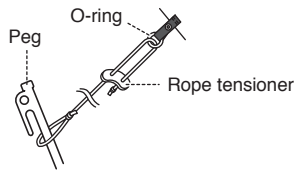
Wrap the two poles together at the pole intersection.  
Perform the same procedure on the other side.



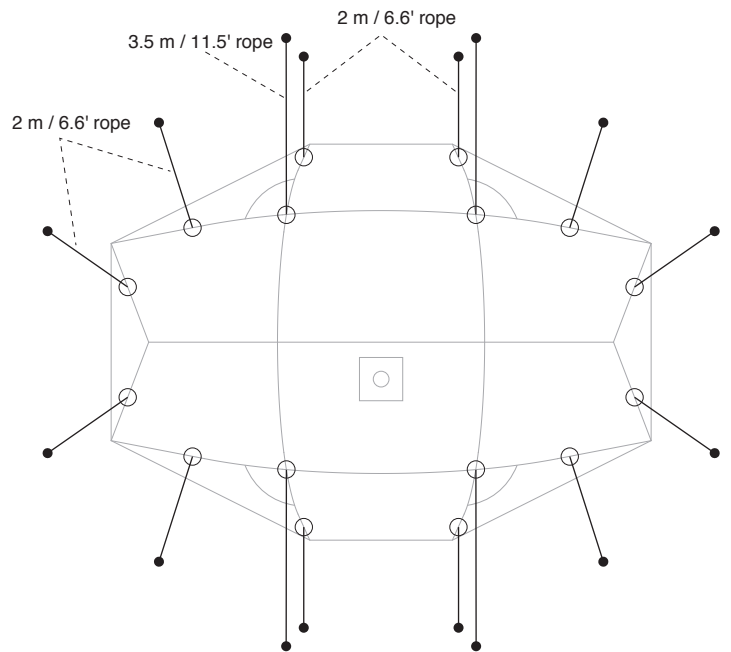


- 8** Attach the rope with a rope tensioner and insert the pegs as shown in the figure below. (2 m / 6.6' x 12, 3.5 m / 11.5' x 4)
- \* Since this shelter is large, we recommend that you use forgeable pegs that are 30 cm / 11.8" or longer.

How to attach the rope



Pass the looped end of the rope through the O-ring at the fly cover TC.



When installing the stove in the IGT frame, refer to the operating instructions on page 36.

## MK Stove assembly procedure (for normal use)

Follow the instructions below to practice setting up and packing up this product several times in order to prepare yourself for actual camping. Please carefully read this manual and the instruction manual included with the MK stove you are using before use. Make sure that you have all the accessories you need in advance. Incorrect setup or disassembly may damage the product and/or cause an accident.

### DANGER

- Place the MK stove on flat, solid ground. Placing the stove on angled surfaces may lead to unexpected accidents.
- When using the product, first remove any snow and make sure that the legs of the MK stove are in firm contact with the ground and that the chimney has been assembled according to the instructions in the Instruction Manual. If you cannot assemble it, change the location of the Merak Pro body.

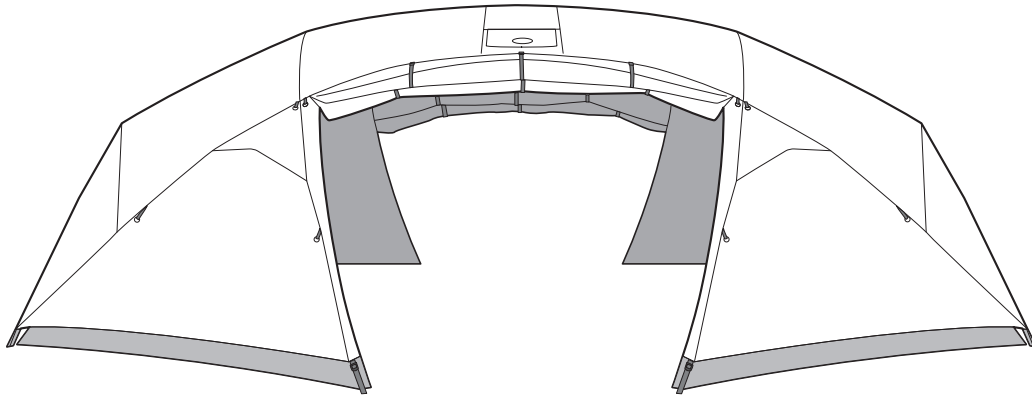
### WARNING

- Be sure to have two or more people install the MK stove.
- Be sure to wear work gloves when installing the MK stove.

### 1 Open the doorway panels on both sides.

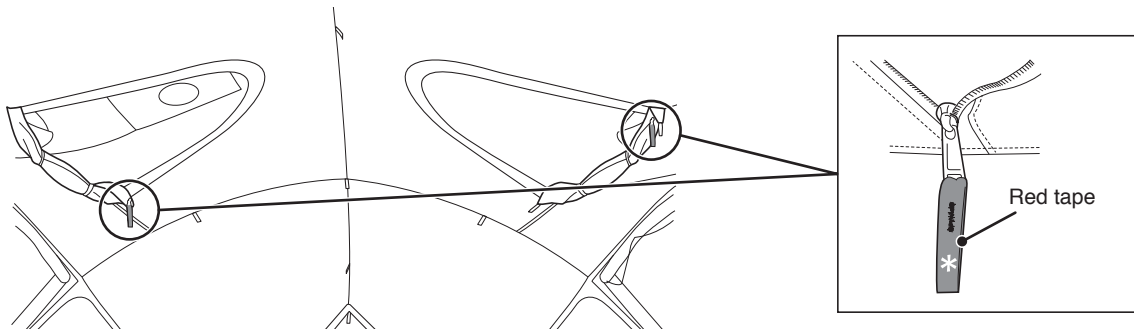
Open the doorway panels on both sides of the shelter and the fly cover TC to install the chimney or stove.

The doorway panel can be kept open by hooking the toggle on the doorway panel of the fly cover TC to the ring attached to the rope with a rope tensioner.



### 2 Roll up the top window.

Open the window on the top of the shelter body (the zipper with the red tape) and roll it up. (2 locations)

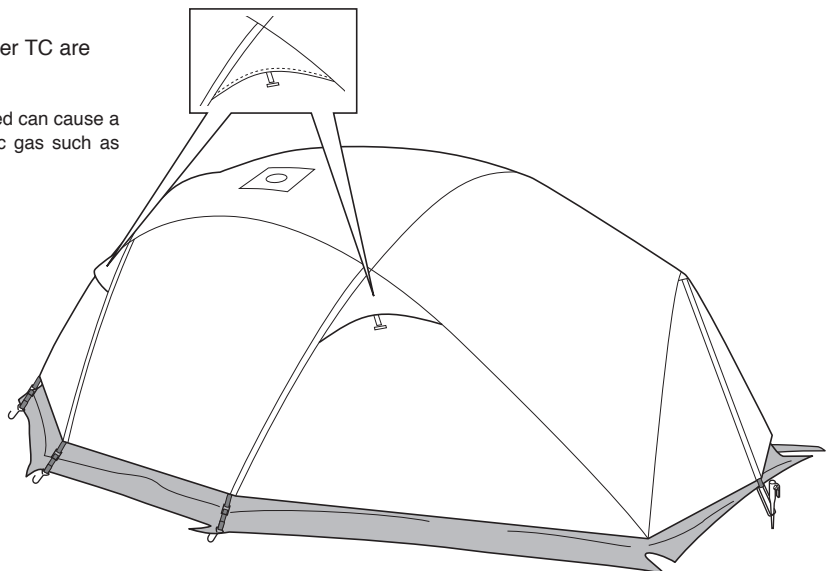


### 3 Ventilation check

Make sure that the vents on the shelter body and the fly cover TC are open. If it is closed, open the ventilation window.

### DANGER

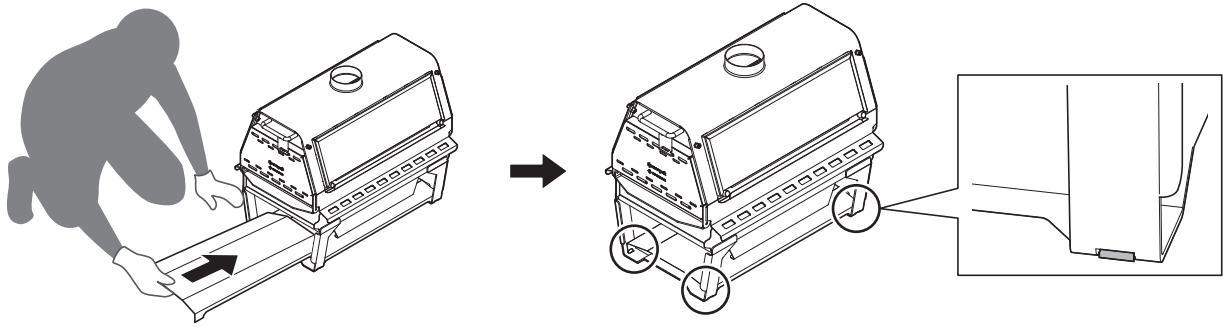
Using a wood-burning stove while the vent is closed can cause a serious accident in the unlikely event that a toxic gas such as carbon monoxide spreads inside the shelter.



④ Attach the heat shield plate.

Slide the heat shield plate under the MK stove body on the short side so that the tabs of the heat shield plate get caught.

**WARNING** Be sure to always use the heat shield plate.



⑤ Attach the fire grate to the position shown in the figure.

How to install: Insert the ash scraper into the hole in the fire grate (Fig. 1), lift it up, and install it in the position on the MK stove as shown in the figure. (Fig. 2)

How to remove: Follow the installation steps in reverse. When removing the fire grate, be careful not to get burned as it will be very hot.

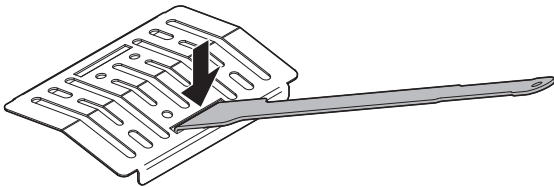


Fig. 1

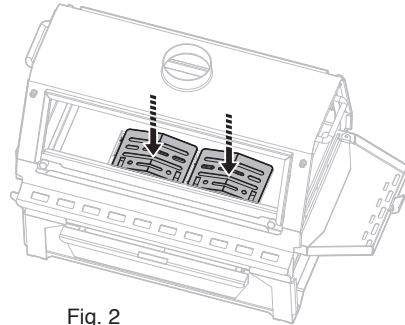
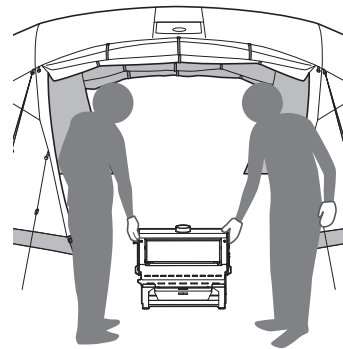


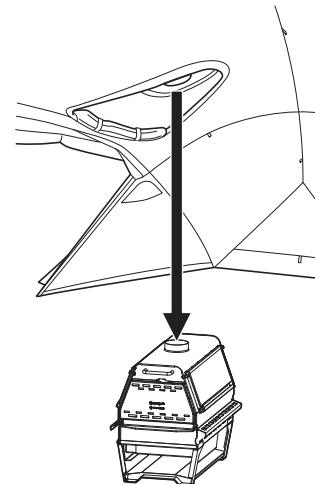
Fig. 2

⑥ Install the MK stove in the shelter.

1) Have two people grip each stove handle and lift the MK stove while facing each other.

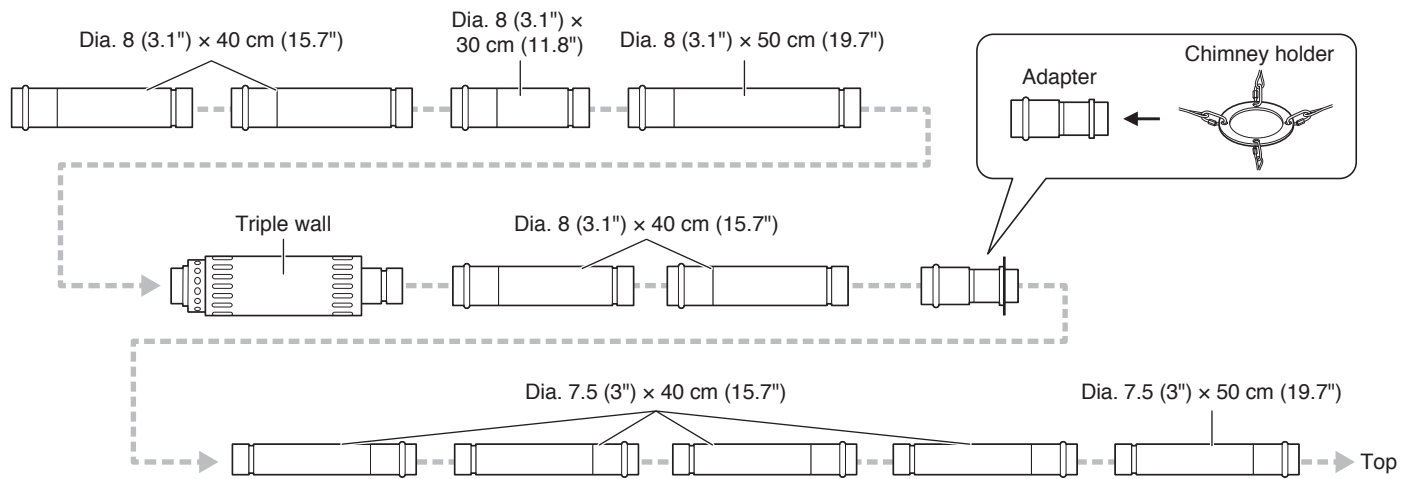


2) Place the stove directly under the chimney hole.  
\* Set the ash catcher in any desired orientation.



**7** Attach the chimney.

Insert the chimney pieces one by one in the direction shown in the figure.

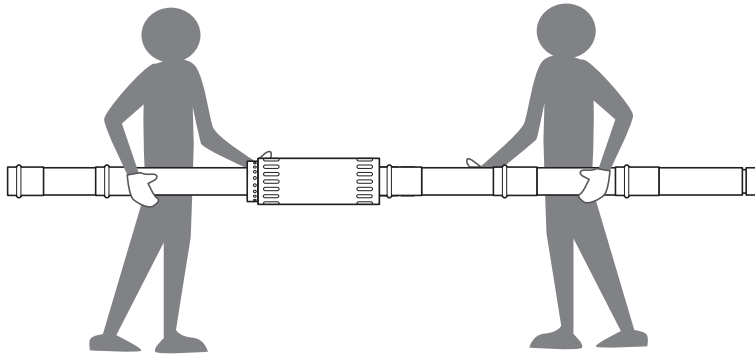


**WARNING**

- The end of the chimney is sharp due to the way the product was processed. Please be careful not to touch it.
- Make sure that no people or nearby objects hit the product. Otherwise, it may cause an injury.

**CAUTION**

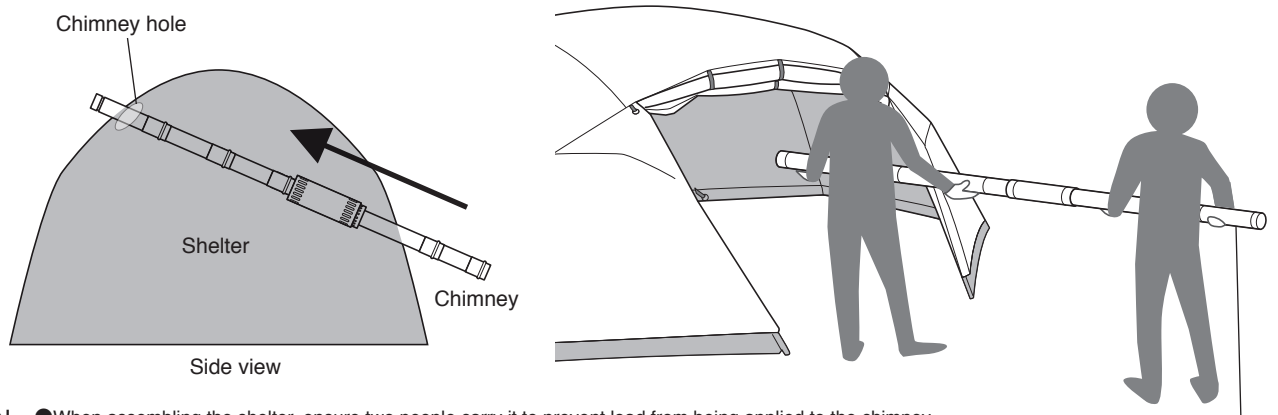
- Make sure the chimney is inserted to the end.
- Do not force the screw in or apply excessive load when inserting it. The chimney is deformed.



It will be easier to assemble if two people hold the chimney and insert it while adjusting the insertion angle.

**8** Attach the chimney to the shelter.

As shown in the figure, insert the top of the chimney into the shelter and insert it into the chimney hole.



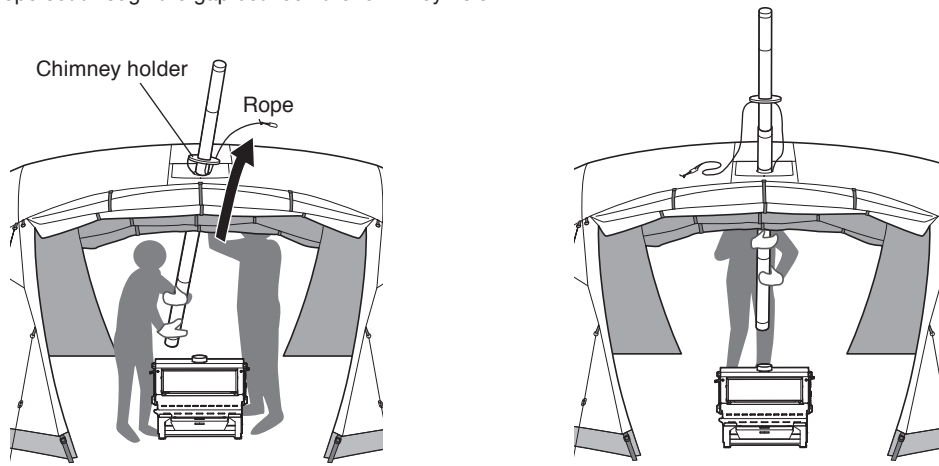
**CAUTION**

- When assembling the shelter, ensure two people carry it to prevent load from being applied to the chimney.
- The chimney cannot be inserted through the doorway panel on the chimney hole side.

Hold the bottom part.

**9** Put the rope outside the shelter.

One person holds the lower section of the chimney and tilts it diagonally. After the chimney holder has come out through the chimney hole, have the other person thread the rope out through the gap between the chimney hole.

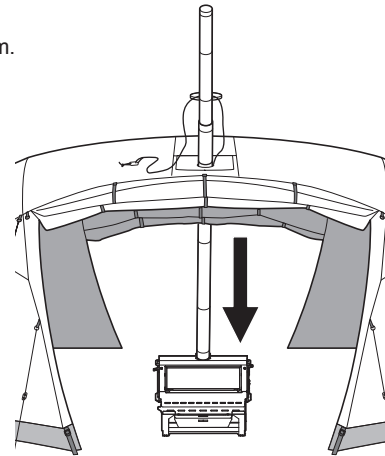


**CAUTION** The person lifting the lower section of the chimney should not hold the very bottom part of the chimney. The edge of the chimney is sharp, which may cause an injury.

**10** Insert the chimney into the MK stove.

Hold the chimney vertically and insert it into the MK stove until it completely hits the bottom.

**CAUTION** If the chimney does not completely fit into the MK stove body, do not force it in; adjust the MK stove position to make it fit. Forcing it may cause the chimney to become deformed, or prevent it from being able to be removed.



**11** Check the MK stove position.

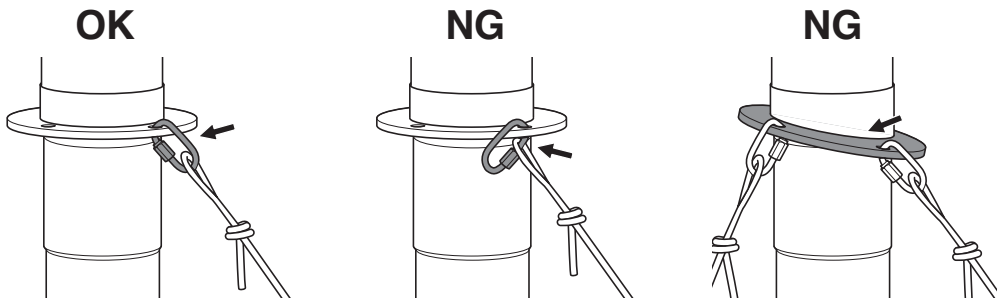
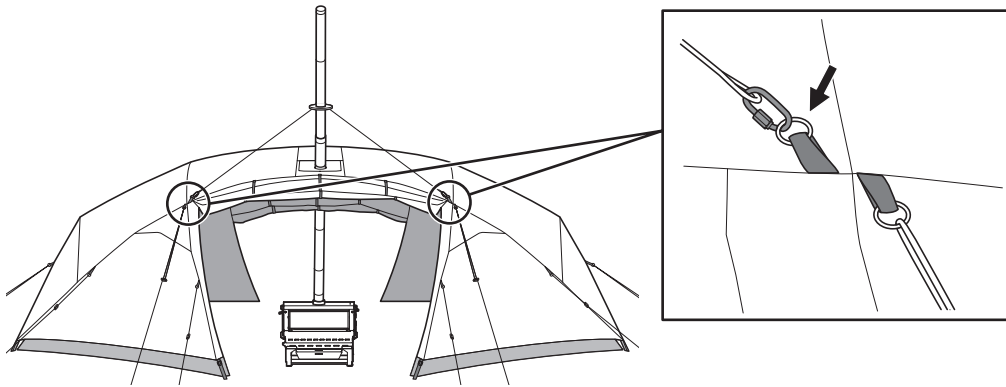
Check that the MK stove is installed with the chimney vertical. If the MK stove position is not correct, you will need to make fine adjustments.

**12** Secure the chimney to the shelter using a rope.

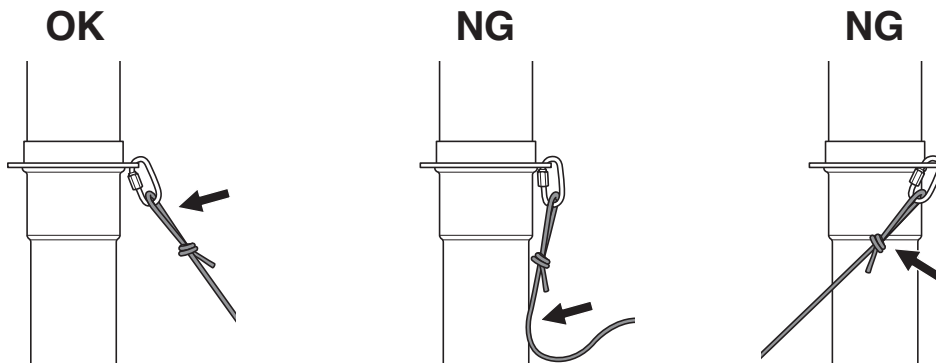
Attach a carabiner using a rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1') to each position of the shelter shown in the figure and apply an appropriate amount of tension. (4 locations)

If the rope and carabiner are misaligned at the attachment position, rotate the chimney to adjust its position.

Also, check that the rope does not directly come into contact with the chimney, and that the carabiner is not misaligned.



If the chimney holder is at an angle, adjust it so that it is parallel to the ground.

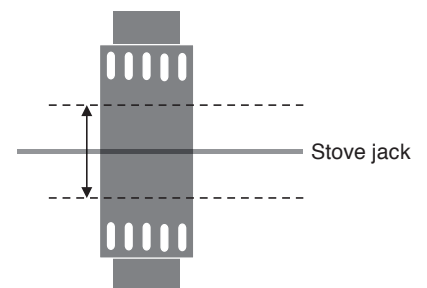


**13** Check the triple wall position.

When tension is applied to the swivel rope (3.7 m / 12.1'), check that the chimney hole comes within the range specified in the figure in the center of the triple wall.

If it is outside the specified range, reassemble the chimney.

Check that the upper hole is outside the shelter and the lower hole is inside the shelter.



**14** If you want to cook using the stove, attach the cooker guard by following the procedure described in the operating instructions (refer to the instruction manual that comes with your MK stove).

# MK Stove assemble procedure (When installing in the IGT frame)

Follow the instructions below to practice setting up and packing up this product several times in order to prepare yourself for actual camping. Please carefully read this manual and the instruction manual included with the MK stove you are using before use. Make sure that you have all the accessories you need in advance. Incorrect setup or disassembly may damage the product and/or cause an accident.

## DANGER

- Place the MK stove on flat, solid ground. Placing the stove on angled surfaces may lead to unexpected accidents.
- When using the product, first remove any snow and make sure that the legs of the MK stove are in firm contact with the ground and that the chimney has been assembled according to the instructions in the Instruction Manual. If you cannot assemble it, change the location of the Merak Pro body.

## WARNING

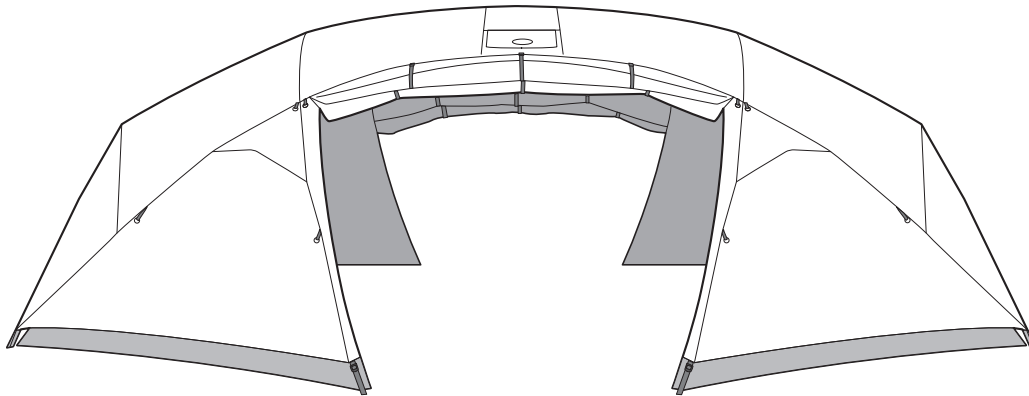
- Be sure to have two or more people install the MK stove.
- Be sure to wear work gloves when installing the MK stove.

## CAUTION

- Please refer to the correspondence table on page 28 for the leg lengths of the IGT that can be used inside the shelter.

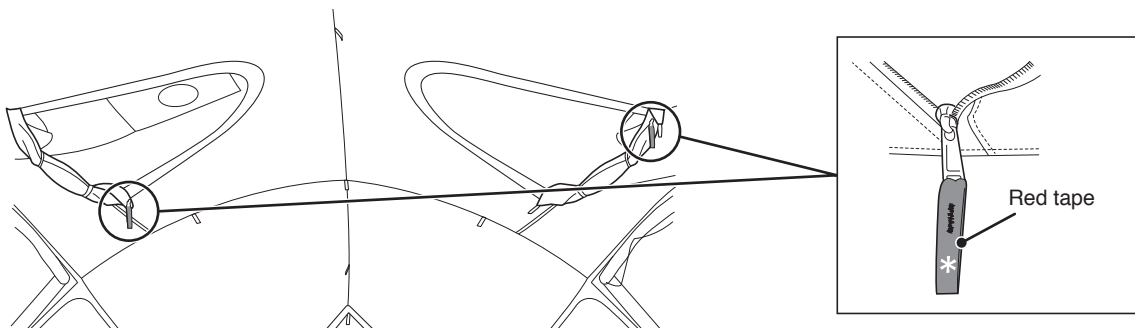
### 1 Open the doorway panels on both sides.

Open the doorway panels on both sides of the shelter and the fly cover TC to install the chimney or stove. The doorway panel can be kept open by hooking the toggle on the doorway panel of the fly cover TC to the ring attached to the rope with a rope tensioner.



### 2 Roll up the top window.

Open the window on the top of the shelter body (the zipper with the red tape) and roll it up. (2 locations)

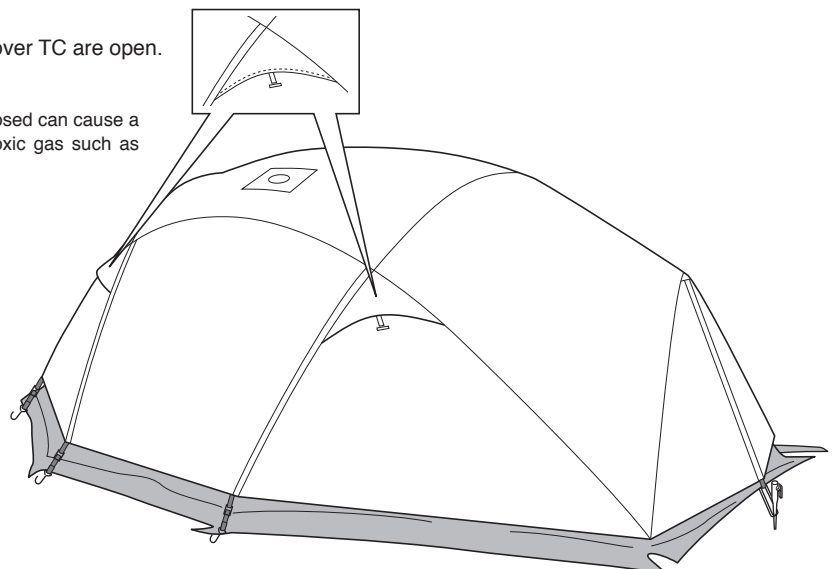


### 3 Ventilation check

Make sure that the vents on the shelter body and the fly cover TC are open. If it is closed, open the ventilation window.

## DANGER

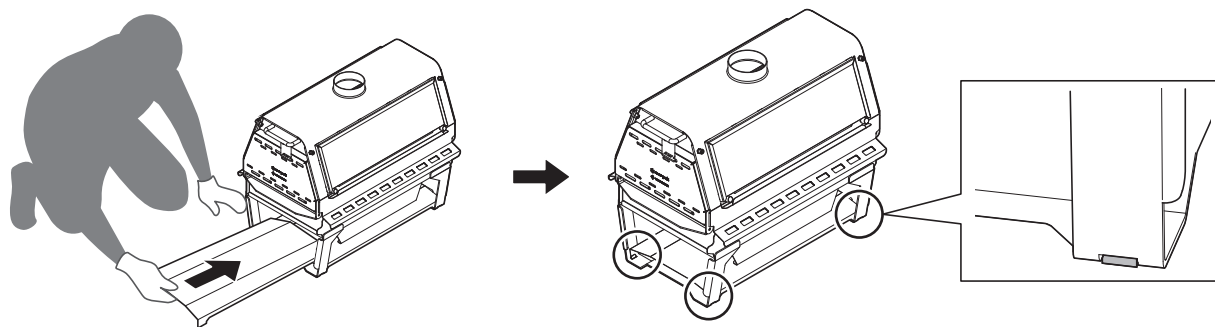
Using a wood-burning stove while the vent is closed can cause a serious accident in the unlikely event that a toxic gas such as carbon monoxide spreads inside the shelter.



**4** Attach the heat shield plate.

Slide the heat shield plate under the MK stove body on the short side so that the tabs of the heat shield plate get caught.

**WARNING** Be sure to always use the heat shield plate.



**5** Attach the fire grate to the position shown in the figure.

How to install: Insert the ash scraper into the hole in the fire grate (Fig. 1), lift it up, and install it in the position on the MK stove as shown in the figure. (Fig. 2)

How to remove: Follow the installation steps in reverse. When removing the fire grate, be careful not to get burned as it will be very hot.

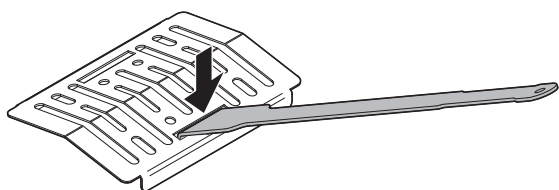


Fig. 1

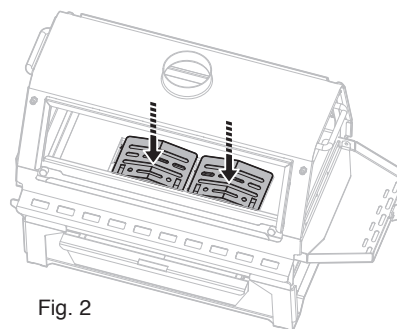
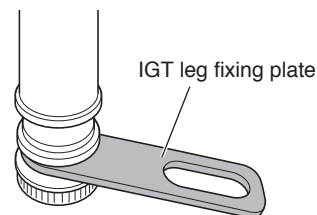


Fig. 2

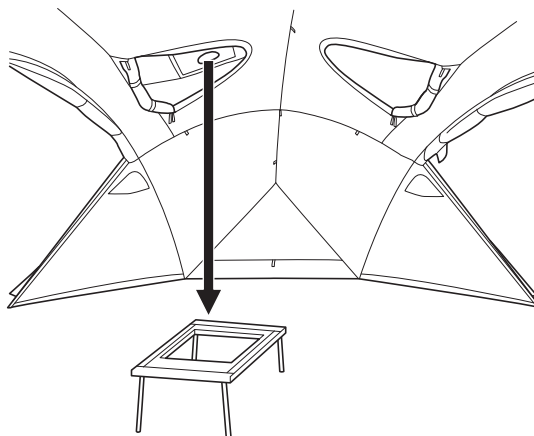
**6** Install the MK stove in the shelter.

1) Attach the IGT leg fixing plate to the adjuster part of the IGT leg (CK-109 or CK-112). (Four pieces)

\* The leg lengths that can be used inside the shelter are 300 and 400.

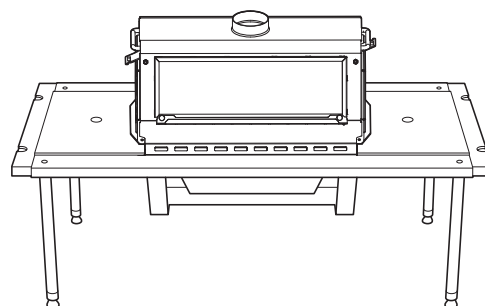
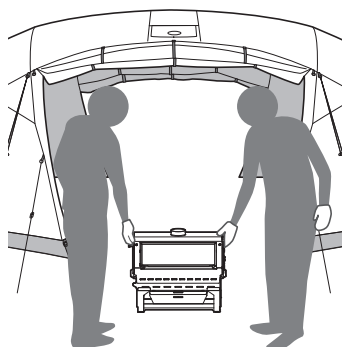


2) Place the IGT frame with the legs attached directly under the chimney hole.



3) Have two people hold each stove handle while facing each other, and install the stove in the center of the IGT frame. Insert the stainless steel tray into the gap.

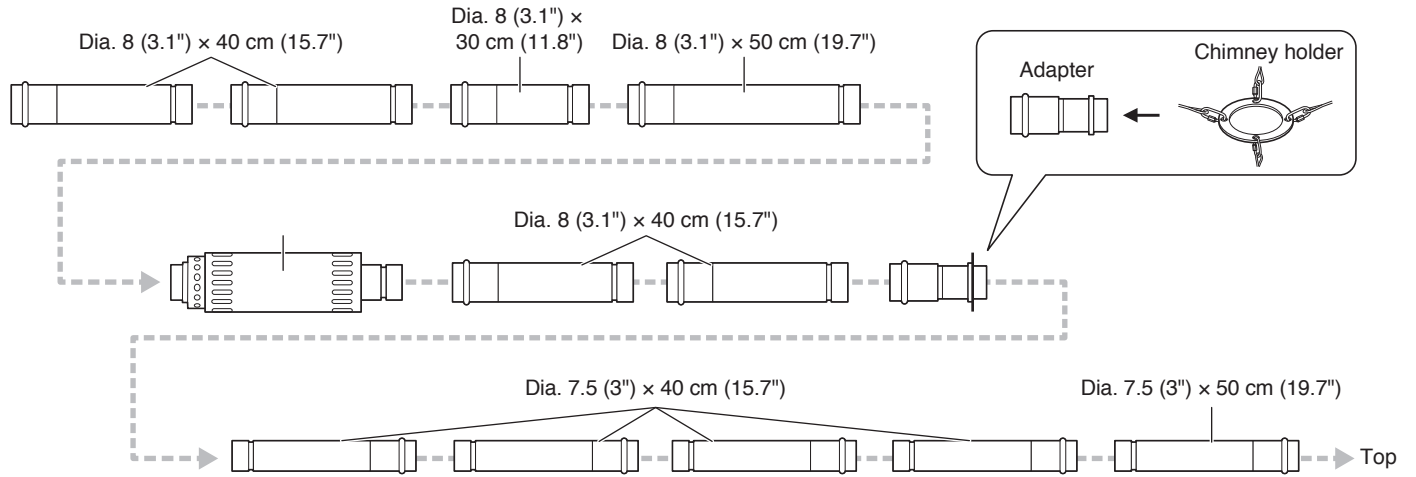
\* Set the ash catcher in any desired orientation.



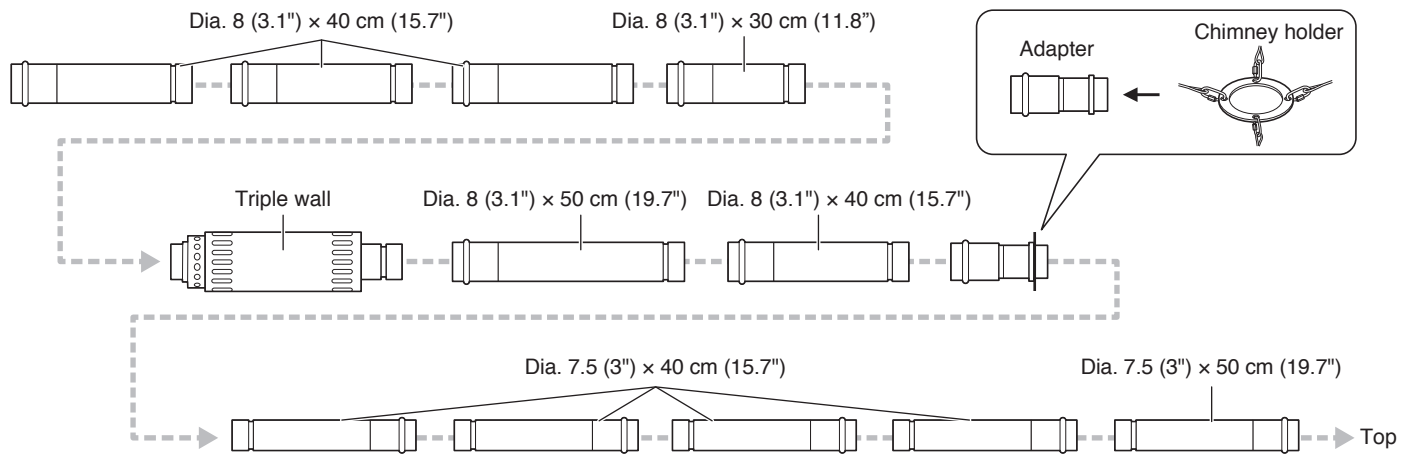
**7** Attach the chimney.

Insert the chimney pieces one by one in the direction shown in the figure.

**When using with IGT300 legs**



**When using with IGT400 legs**

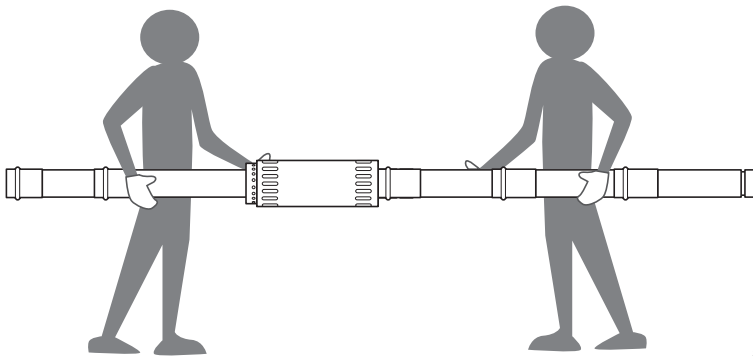


**WARNING**

- The end of the chimney is sharp due to the way the product was processed. Please be careful not to touch it.
- Make sure that no people or nearby objects hit the product. Otherwise, it may cause an injury.

**CAUTION**

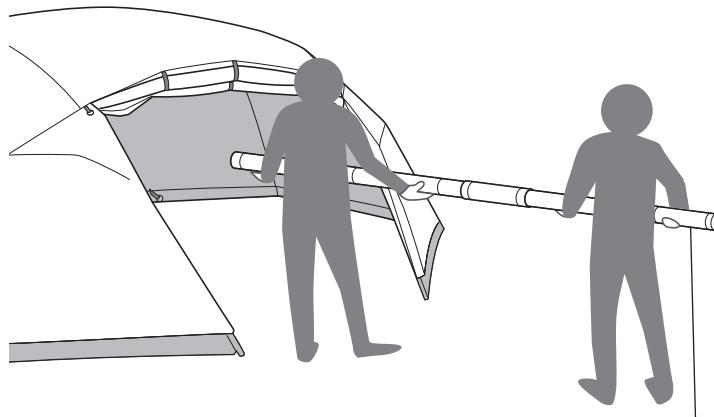
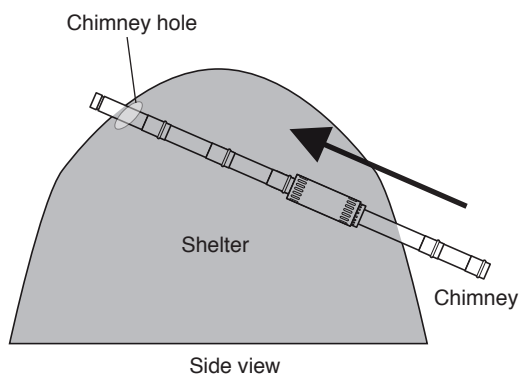
- Make sure the chimney is inserted to the end.
- Do not force the screw in or apply excessive load when inserting it. The chimney is deformed.



It will be easier to assemble if two people hold the chimney and insert it while adjusting the insertion angle.

**8** Attach the chimney to the shelter.

As shown in the figure, insert the top of the chimney into the shelter and insert it into the chimney hole.



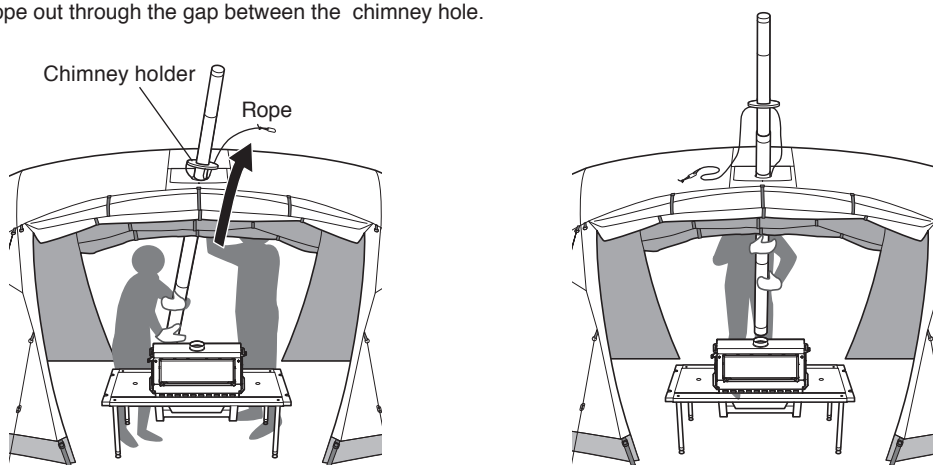
**CAUTION**

- When assembling the shelter, ensure two people carry it to prevent load from being applied to the chimney.
- The chimney cannot be inserted through the doorway panel on the chimney hole side.

Hold the bottom part.

**9** Put the rope outside the shelter.

One person holds the lower section of the chimney and tilts it diagonally. After the chimney holder has come out through the chimney hole, have the other person thread the rope out through the gap between the chimney hole.

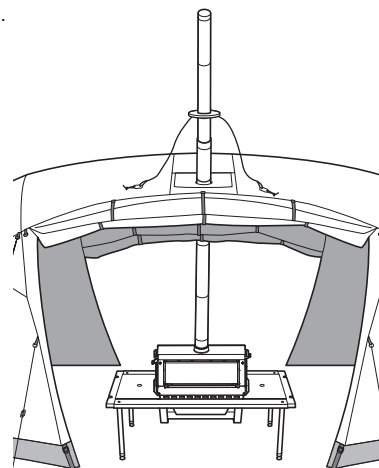


**CAUTION** The person lifting the lower section of the chimney should not hold the very bottom part of the chimney. The edge of the chimney is sharp, which may cause an injury.

**10** Insert the chimney into the MK stove.

Hold the chimney vertically and insert it into the MK stove until it completely hits the bottom.

**CAUTION** If the chimney does not completely fit into the MK stove body, do not force it in; adjust the stove position to make it fit. Forcing it may cause the chimney to become deformed, or prevent it from being able to be removed.



**11** Check the MK stove position.

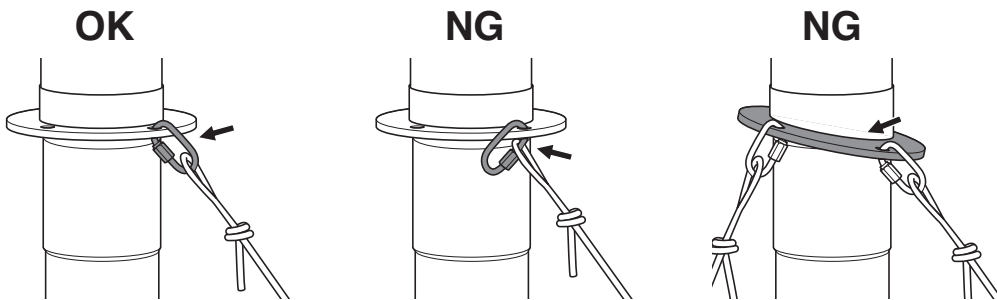
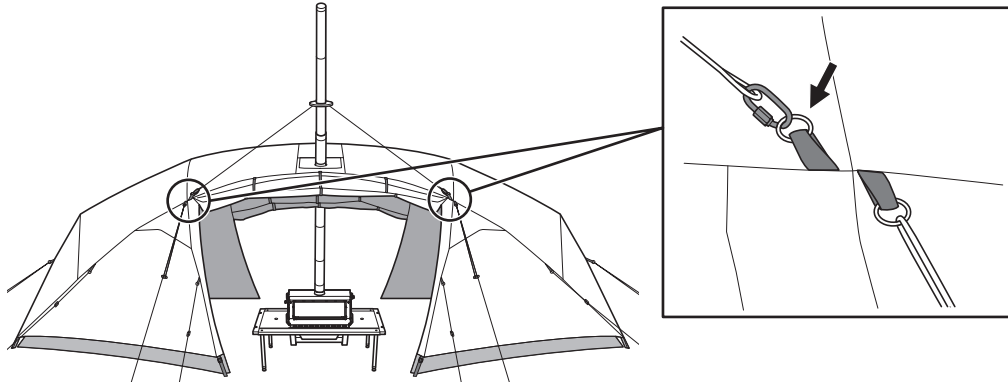
Check that the MK stove is installed with the chimney vertical. If the MK stove position is not correct, you will need to make fine adjustments.

**12** Secure the chimney to the shelter using a rope.

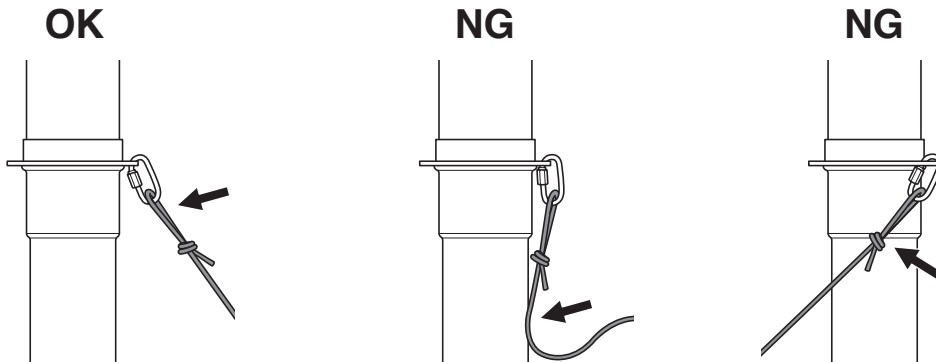
Attach a carabiner using a rope with a rope tensioner (3.7 m / 12.1') to each position of the shelter shown in the figure and apply an appropriate amount of tension. (4 locations)

If the rope and carabiner are misaligned at the attachment position, rotate the chimney to adjust its position.

Also, check that the rope does not directly come into contact with the chimney, and that the carabiner is not misaligned.



If the chimney holder is at an angle, adjust it so that it is parallel to the ground.

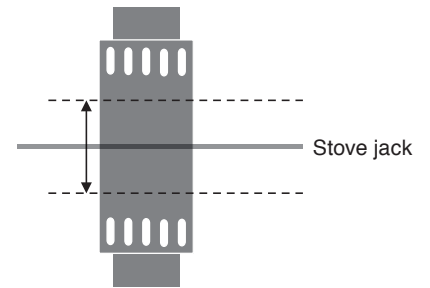


**13** Check the triple wall position.

When tension is applied to the swivel rope (3.7 m / 12.1'), check that the chimney hole comes within the range specified in the figure in the center of the triple wall.

If it is outside the specified range, reassemble the chimney.

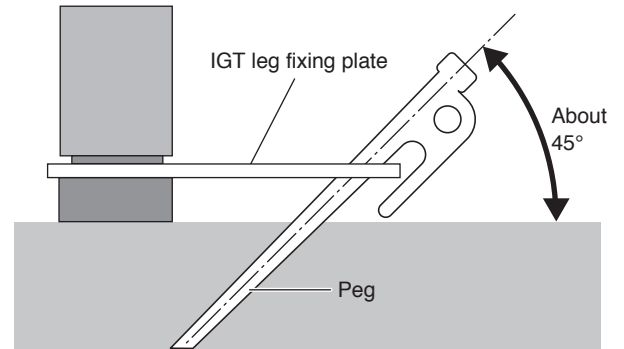
Check that the upper hole is outside the shelter and the lower hole is inside the shelter.



**14** Securing the IGT frame

After checking the chimney, peg down the IGT leg fixing plate and secure it firmly to the ground.

\* Use forged pegs that are 30 cm / 11.8" or more in length.



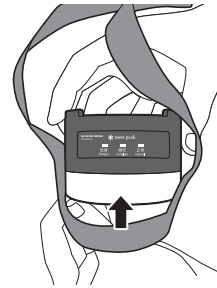
**15** If you want to cook using the stove, attach the cooker guard by following the procedure described in the operating instructions (refer to the instruction manual that comes with your MK stove).

## How to attach the Carbon Monoxide Monitor

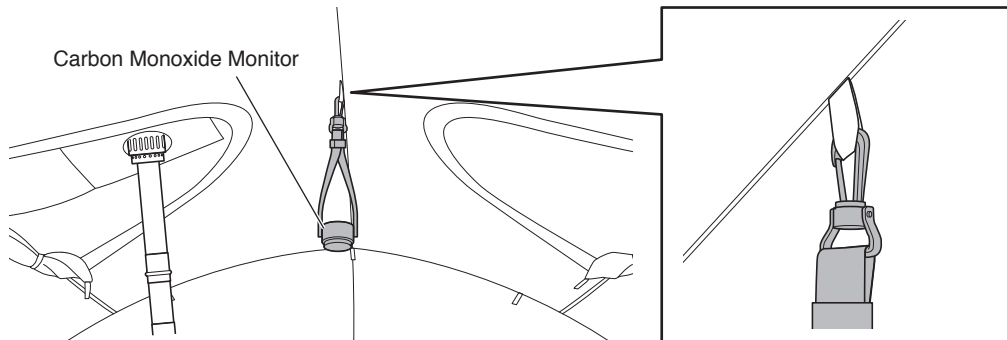
Referring to the instruction manual included with the ST-151 (carbon monoxide monitor), install and operate the shelter.

- ① **Attach the Carbon Monoxide Monitor to the hanging belt.**  
Attach the hanging belt to the Carbon Monoxide Monitor as shown in the figure. When doing this, be careful not to cover the indicator.

**CAUTION** Be sure to remove the protective sticker from the indicator before use.

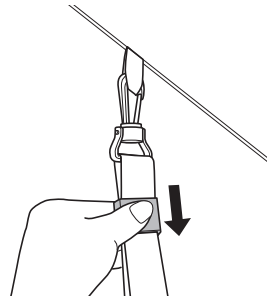


- ② **Attach the Carbon Monoxide Monitor in the shelter.**  
Attach the Carbon Monoxide Monitor to the loop on the ceiling in the position shown in the figure.



- ③ **Lower the rubber band.**  
Lower the rubber band of the hanging belt.

**CAUTION** Do not shorten the length of the hanging belt.



## Pre-use checklist (Check before lighting the wood stove)

Before lighting the wood stove, be sure to check the conditions of the shelter, wood stove, and Carbon Monoxide Monitor using the checklist below.

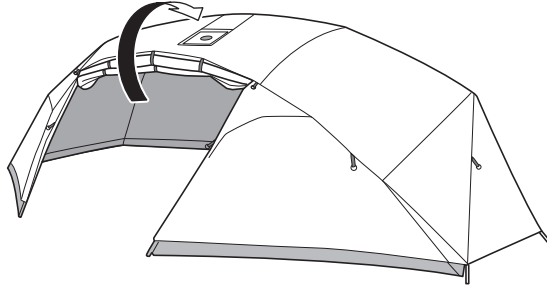
<input checked="" type="checkbox"/>	Make sure that the legs of the wood stove are firmly positioned on the ground. Make sure that the chimney can be assembled according to the instructions in the Instruction Manual. (If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.)
<input checked="" type="checkbox"/>	When you attempt to incorporate the product into the IGT frame, is the IGT leg fixing plate attached with the IGT legs in firm contact with the ground? Is the wood stove tilted?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any bags left near the doorway? Are there any other objects that may block the evacuation route?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the specified ventilation window open? (Window on the top of the shelter, vent of the shelter and fly cover TC)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the Carbon Monoxide Monitor turned on?
<input checked="" type="checkbox"/>	Have you prepared a fire extinguishing bucket filled with water?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are the pegs set correctly?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is appropriate tension applied to the ropes?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any electronic devices, plastic products, or other items that are easily affected by heat around the wood stove?

## Precautions for using a wood stove inside a shelter

**DANGER** Be sure to turn on the Carbon Monoxide Monitor before lighting the firewood.

**WARNING** Before lighting the firewood, be sure to have a bucket of water, insulated gloves, and fire tongs at the ready.

### ■ When using the stove for the first time



- ① When using the wood stove for the first time, fully open both doorway panels of the shelter as shown in the above figure. At this time, organize your belongings near the doorway, and always ensure there is an evacuation route in case of an emergency.
- ② Follow the instruction manual provided with your wood stove to light it.
- ③ The first time you use it, you will need to burn off all the industrial oil applied on the main body. Stay outside the shelter except when adding firewood. Please burn for about three hours. If you inhale the smoke from the burning oil, it may make you feel sick.

**CAUTION** If only a small amount of firewood is being used, the temperature of the body will not rise, and the oil will not be burned. Always add firewood up to the secondary air hole outlet line.

### ■ Operation at bedtime

- ① Check that doors on both sides are securely closed before going to bed.
- ② When sleeping inside the shelter, ensure that the stove is always visible.

### ■ About the use of the lighting equipment in the shelter

When using the wood stove, attach the LED lighting to a lantern loop other than the one in the center of the shelter (the Carbon Monoxide Monitor installation position).

**DANGER** Do not use fuel-burning devices or lanterns that use gas canisters or other types of fuel inside the shelter.

**WARNING** Do not place any lighting equipment in a location where it will be strongly affected by the heat of the stove. Otherwise, lighting equipment may overheat, which may cause a fire or an unexpected accident.

**CAUTION** The area around the lantern loop may become hot due to the climate and other effects. When burning wood in a stove, always check that the surface temperature and product operation of the attached lighting equipment are appropriate.

## Emergency Response

**DANGER** If the following phenomenon occurs, evacuate away from the shelter, and wait until the fire is extinguished. **Contact the fire department if necessary.**

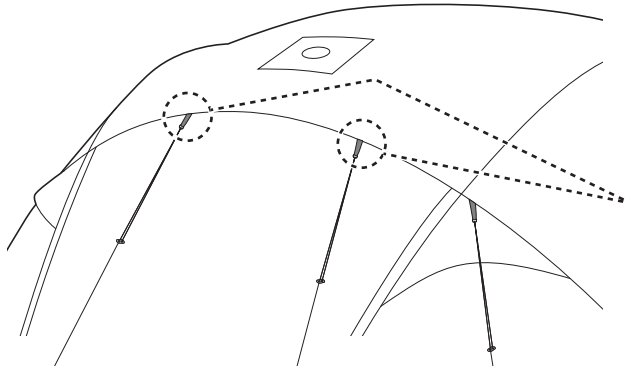
- The chimney has fallen out due to some impact during combustion.
- Abnormal smoke or an odor has occurred in the tent even though the wood stove door is closed during combustion.
- The flames flow backward.
- The flames have spread outside the wood stove.

\* The fire cannot be extinguished immediately even if you try to put it out using water.

## What to do in case of strong winds

This product is equipped with accessories that provide stability against strong winds from the front. Set the four 5 m / 16.4' ropes with a rope tensioner as shown in the figure below.

**WARNING** This is just an assisting measure. It cannot withstand all weather conditions. Use this only if you encounter temporary strong winds or if it is difficult to disassemble the product immediately.  
Do not apply your weight to the safety rings. Otherwise, it may risk damage.



Attach a 5 m / 16.4' rope with a rope tensioner to the ring on the TC fly cover and secure it using a peg.

## How to disassemble

**DANGER** When extinguishing the fire, wait at least three hours after the last time firewood was added. Otherwise, it is very dangerous because the wood stove is hot.

- 1 Fully open the doorway panels on both sides of the shelter. (Fig. 1)  
When doing this, clear everything (example: pegs, chairs) that are likely to be an obstacle between the wood stove and the doorway panel. When carrying charcoal that has not been extinguished to the outside, it may result in an unexpected accident.
- 2 Prepare a bucket containing water outside the shelter. When extinguishing fire, smoke may be emitted or sparks may fly. Place a bucket in a location where it will not cause damage to the shelter or property, or injure people around it. (Fig. 1)
- 3 Open the wood stove and use the ash scraper to remove the fire grate. If it is difficult to do this, open the doors on both sides. However, if you open both doors at the same time, the wind will blow ash into the shelter, so please work on one side at a time. (Fig. 2)
- 4 After removing the fire grate, use the ash scraper to remove all charcoal into the ash catcher. If it is difficult to do this, open the doors on both sides. However, if you open both doors at the same time, the wind will blow ash into the shelter, so please work on one side at a time. (Fig. 2)
- 5 Use the ash scraper to remove the ash catcher, carry it carefully to the bucket containing water, and extinguish any remaining flames. The ash catcher is heavy, so be sure to hold ash scraper with both hands. (Fig. 3)
- 6 To disassemble, perform the setup procedure in reverse.

Fig. 1

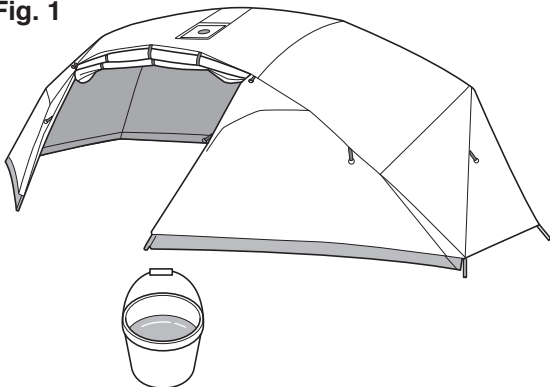


Fig. 2

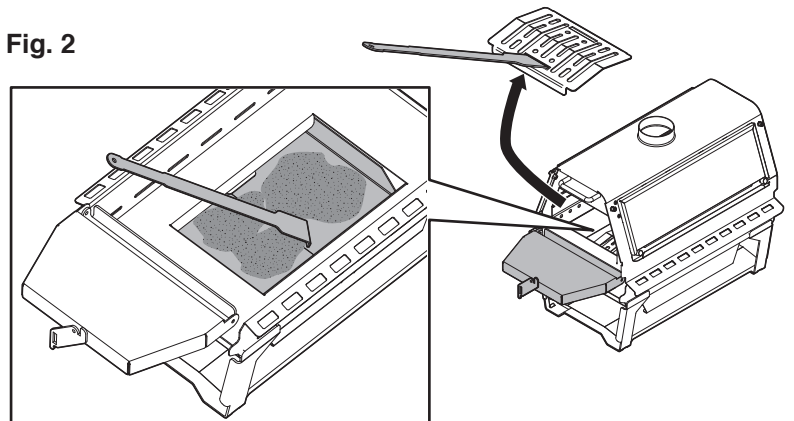
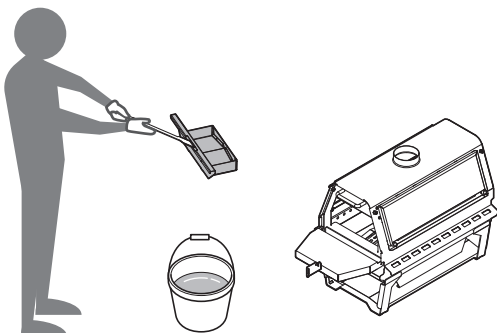


Fig. 3



## Precautions for disassembly and storage

- Make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the product.
- Make sure that all panel zippers and ventilation openings are closed before starting disassembly.
- Be sure to remove the inner room and any other products from the shelter before disassembling it.
- Ensure nothing is inside the shelter and that all panels, windows, and ventilation openings are closed.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store all frames in the frame case. The frame should be stored with its head facing down in the frame storage case.
- Storing these items while exposed may damage the product fabric and the carry bag.

## Condensation

Mist is a collection of water droplets suspended in the air that turns into condensation in rapidly falling temperatures. In smaller spaces such as the inside of a tent or shelter, water vapor concentration is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. Depending on the surrounding conditions, it may be impossible to avoid condensation completely, even with waterproof materials. To reduce condensation, allow steady ventilation while the tent is in use.

## Water-repellent and waterproof functions

- This product exhibits waterproof performance when it gets wet, causing the fabric to expand. If exposed to sudden heavy rain before the fabric expands, it may result in leaks.
- This product has been treated with a water-repellent finish, however, due to the characteristics of the fabric, there may be slight variations in water-repellent performance (including the method of repelling water and its durability). The water-repellent finish will lose its effectiveness after repeated use. If the performance decreases, use a commercially available water-repellent spray after carefully reading the instructions for use.
- The logo may peel off due to the effect of the water repellent agent.

## Effects of ultraviolet rays

- If this product is left in the sun for long periods of time, its materials may fade, or the fabric may deteriorate and lose its strength. Do not leave the product set up permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

## Anti-mold treatment

- The fabric of the fly has been treated with a high-performance anti-mold treatment. An anti-mold-treated product suppresses the growth of certain molds beyond the standard when compared to products without anti-mold treatment.
- The anti-mold treatment does not eliminate mold. It suppresses the growth of specific molds.
- The anti-mold treatment does not guarantee that mold will not develop. Mold may occur depending on the usage conditions.
- The effectiveness of the anti-mold treatment may decrease with repeated use. The effectiveness of the anti-mold treatment varies based on the actual environment in which the product is used.

## Maintenance & storage

- This product has been designed with processing and color patterns to minimize color transfer, taking into account the characteristics of the fabric. However, please note that slight color transfer may occur depending on storage conditions. Do not store the product while it is wet.
- Please be aware that this product is made from a material that is prone to wrinkling.
- Before storing, the product should be cleaned and dried. Storing the product while it is wet can lead to issues such as mold, unpleasant odors, color migration, and material deterioration. Ensure the product is thoroughly dried in a well-ventilated, shaded area, and remove any mud or dirt using a soft brush before storage.
- Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and humidity.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to ensure smooth movement. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric.
- Minor fabric damage can be repaired using commercially available repair tape. Please read the repair tape manual carefully before applying.
- Depending on usage conditions, extensive deterioration of the material may occur, potentially resulting in loss of durability that makes it irreparable.
- Sap cannot be easily removed. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. Forcibly removing sap using solvents or similar substances may damage the fabric or coating.
- To prepare for the next use, ensure that the product and its accessories, including the ropes and stove jack, are thoroughly maintained and inspected as described above.

## Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

1. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual
2. Material deterioration caused by age
3. Damage caused by modifications or rough handling
4. Damage caused by unexpected accidents
5. Any damage other than defects in the manufacturing process
6. Damage caused by dust or rust
7. Damage and defects caused by dismantling the product
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks
9. Defects due to deterioration, damage, or failure of consumable parts.
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products

## Repair

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
  1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
  2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

## Checklist

### ■ Pre-setup checklist

Before setup, please use the checklist below to check for missing items, defects in each product, and the environment before installation.

<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the Merak Pro. Stove Plus accessories included?
<input checked="" type="checkbox"/>	Do you have the required number of pegs needed to set up the product? Forged pegs: 30 cm / 11.8" or more × 26 When using an IGT frame, forged pegs: 30 cm / 11.8" or more × 4.
<input checked="" type="checkbox"/>	Are all the accessories included in the Merak Pro. Stove Plus free of damage and wear?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there batteries in the carbon monoxide monitor, and are spare batteries prepared? Does the carbon monoxide monitor turn on? (Refer to the instruction manual included with the carbon monoxide monitor.)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the location where the shelter and wood stove will be set up firm and flat?
<input checked="" type="checkbox"/>	When using the shelter in winter or in a snowy environment, did you compact the snow in the area where you want to set up the shelter? Did you clear snow in the area to install the wood stove?

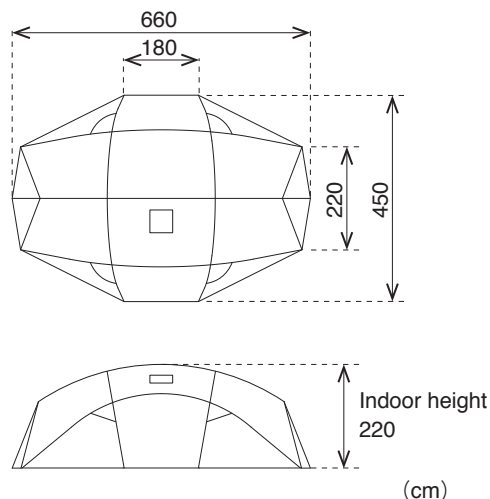
## ■ Post-setup checklist (Please check before lighting the wood stove.)

Before lighting the wood stove, be sure to check the conditions of the shelter, wood stove, and Carbon Monoxide Monitor using the checklist below.

<input checked="" type="checkbox"/>	Make sure that the legs of the wood stove are firmly positioned on the ground. Make sure that the chimney can be assembled according to the instructions in the Instruction Manual. (If it is not possible to carry out assembly, change the setup location.)
<input checked="" type="checkbox"/>	When you attempt to incorporate the product into the IGT frame, is the IGT leg fixing plate attached with the IGT legs in firm contact with the ground? Is the stove tilted?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any bags left near the doorway? Are there any other objects that may block the evacuation route?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the specified ventilation window open? (Window on the top of the shelter, vent of the shelter and fly cover TC)
<input checked="" type="checkbox"/>	Is the Carbon Monoxide Monitor turned on?
<input checked="" type="checkbox"/>	Have you prepared a fire extinguishing bucket filled with water?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are the pegs set correctly?
<input checked="" type="checkbox"/>	Is appropriate tension applied to the ropes?
<input checked="" type="checkbox"/>	Are there any electronic devices, plastic products, or other items that are easily affected by heat around the wood stove?

## Specifications

- Set Contents: Fly sheet, Rope with a rope tensioner ( 3.5 m / 11.5' x 4, 2 m / 6.6' x 12, 5 m / 16.4' x 4 ), Stove jack, Roof lid, Storage case
- Material: Main body/ 210g / m<sup>2</sup> polyester cotton blend fabric (approximately 65% polyester, 35% cotton) water repellent finish, and anti-mold treatment, Stove jack / fiberglass (silicone coating)
- Carry bag size: 69 x 24 x 24 (h) cm (27.2" x 9.4" x 9.4" (h))
- Weight: 11.5 kg (25.4 lbs)



### Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan  
 Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860  
 www.snowpeak.co.jp

### Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA  
 Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa  
 Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

MADE IN CHINA